I-O DATA

ポータブル DJ キット

DJPAD2020

取扱説明書

株式会社 アイ・オー・データ機器

103304-01

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
3) 本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
5) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
6) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各１部だけ複写できるものとします。
7) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
8) 本サポートソフトウェアのソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
9) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
10) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関る設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
11) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan.　We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
12) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に１台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
13) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
14) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。

- I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- Microsoft, Windowsは、米国Microsoft Corporationの登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

このたびは、ポータブル DJ キット「DJPAD2020」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用の前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いします。

本書での呼び方

呼び方	意　味
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Professional Operating System および Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating System
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional Operating System
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Second Edition Operating System
Windows XP/2000	Windows XP、Windows 2000 の総称
Windows Me/98	Windows Me、Windows 98 の総称
Windows	上記の Windows すべての総称

ii　使用上の注意事項

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際には必ずお守りください。

■警告及び注意事項

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵記号の意味



この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。
例） 「発火注意」を表す絵表示



この記号は禁止の行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。
例） 「分解禁止」を表す絵表示



この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。
例） 「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠警告



使用中止

煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止してください。
そのまま使用すると、感電したり、火災の原因となります。



分解禁止

本製品を修理・改造・分解しないでください。
火災や感電、やけど、動作不良の原因となります。
修理は弊社修理係にご依頼ください。分解したり、改造した場合、保証期間であっても有償修理となる場合があります。



発火注意

本製品を取り付ける場合は、必ず本書で接続方法をご確認になり、以下のことにご注意ください。

- 接続ケーブルなどの部品は、必ず添付品または指定品をご使用ください。故障や動作不良の原因となります。
- 接続するコネクタやケーブルを間違えると、パソコン本体やケーブルから発煙したり火災の原因になります。



厳守

本製品の取り付け、取り外しの際は、必ず本書で、取り付け取り外し方法をご確認ください。
間違った操作を行うと火災・感電・動作不良の原因となります。



禁止

本体を濡らしたり、お風呂場では使用しないでください。
火災・感電の原因となります。お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。

⚠注意



本製品を使用中にデータなどが消失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。
故障に備えて定期的にバックアップをお取りください。



本製品は以下のような場所で保管・使用しないでください。
故障の原因となることがあります。

- ●振動や衝撃の加わる場所
- ●直射日光のあたる場所
- ●湿気やホコリが多い場所
- ●温度差の激しい場所
- ●熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）
- ●強い磁力電波の発生する物の近く
  （磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など）
- ●水気の多い場所（台所、浴室など）
- ●傾いた場所
- ●腐食性ガス雰囲気中（Cl_2、H_2S、NH_3、SO_2、NO_Xなど）
- ●静電気の影響の強い場所

禁止

本製品は精密部品です。以下の注意をしてください。
●落としたり、衝撃を加えない
●製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
●重いものを上にのせない
●そばで飲食・喫煙などをしない

注意

本製品は一般オフィスや家庭の OA 機器ないしホビー用途の製品として設計されていますので、一般機器より高い信頼性が要求される用途や、医療機器のような極めて高い安全性が要求される用途には使用しないでください。

禁止

第三者に便宜を図る目的で音楽データを作成することは法律で禁止されています。
著作権者に無断で、販売や配布など第三者に便宜を図る目的で、音楽データを作成することは違法です。
また、個人で楽しむ場合のほかは、音声ファイル・音楽ファイル・オーディオCDなどの複製・無料/有料を問わずの配布、インターネットへの掲載は、著作権法や国際条約上、固く禁じられています。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

はじめに..... i
使用上の注意事項..... ii

ご使用になる前に

箱の中身は..... 1
本製品で出来ること..... 2
各部の名称..... 4
動作環境..... 6

インストール

DJPAD2020 ソフトウェアのインストール 7
パソコンとの接続..... 11
サポートソフトのインストール（Windows XP の場合） 12
サポートソフトのインストール（Windows 2000 の場合） 22
サポートソフトのインストール（Windows Me の場合） 27
サポートソフトのインストール（Windows 98 の場合） 36

リミックスにチャレンジしよう

まずは曲の再生から..... 41
リミックスを体験しよう！..... 47
基本機能を覚えよう..... 51
クロスフェードをマスターしよう..... 56
ファンクションウィンドウを切り替えよう..... 59
マウスとして使うには..... 62

詳細編（プレイリスト）

曲の読み込み..... 63
曲の再生と曲順の変更..... 64
ボリュームのコントロール..... 65
プレイリストの保存と読み込み..... 66
CUE ポイントの設定 67
BPM 計算 69

詳細編（スクラッチパッド）

スクラッチの基本操作..... 71
スクラッチの詳細設定..... 71
CUE ポイントの利用 72

詳細編（エフェクトパッド）

設定済みのエフェクトを再生する..... 73
Wave サンプルを編集する 73
エフェクトの構成を変える..... 74
エフェクトの保存と読み込み..... 76

詳細編（ドラムループ）

ドラムスタイルの作成..... 77
ドラムスタイルの保存と読み込み..... 81
ドラムセットの保存と読み込み..... 82

詳細編（EQ/リバーブ）

イコライザの設定 83
リバーブの設定 85

詳細編（ミキサー）

ミキサーのコントロール 87
モニター出力について 88

故障かなと思う前に

トラブルQ＆A<目次> 91
トラブルQ＆A（インストール時のトラブル） 92
トラブルQ＆A（DJPAD2020 使用時のトラブル） 97

付録

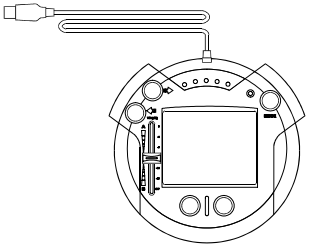
ハードウェア仕様 101
用語解説 102
サポートセンターへのお問い合わせ 105
サポートソフトのバージョンアップ 106
保証について 107
修理について 108

ご使用になる前に　1

箱の中身は

ご使用の前に以下のものがそろっていることをご確認ください。
万一、不足品がありましたら、弊社サポートセンターまでお知らせください。

☐ 本製品（1台）



☐ DJPAD2020 ソフトウェア CD-ROM（1枚）

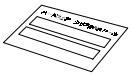


☑ 取扱説明書（本書、1 冊）

☐ ハードウェア保証書（1枚）

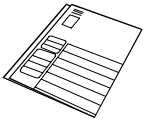


☐ ハードウェアシリアル No.シール（1枚）



このシールはハードウェア保証書と
ユーザー登録カードに貼ってください。

☐ ユーザー登録カード（1枚）



ユーザー登録方法が記載されています。
必ずご登録ください。

箱・梱包材は大切に保管し、修理などで輸送の際にご利用ください。

本製品で出来ること

■画期的！　手軽にデジタル DJ リミックス

――DJ をやってみたいけど、設備は高価だしアナログレコードもない――
こんな方のために登場したのが本製品。アナログターンテーブルの操作性の良さはそのままに、多くの方々に DJ リミックスの楽しさを気軽に味わってもらうために開発されました。用意していただくのは、デジタルオーディオ(MP3、CD、Wave file)だけです。

■オールマイティなスライダーを本体に搭載！

ハードウェアにスライダーを搭載。ミキサーを使っている感覚そのままでご使用いただけます。このスライダーは、DJ リミックスで一番重要なボリュームコントロールで使えるのはもちろん、画面上のスライダーと連動して、あるときはピッチのコントロールに、あるときは 2 曲間のクロスフェードに、あるときはミキシングのレベルコントロールにと、大活躍します。

■アナログレコード感覚そのままのスクラッチを実現！



デジタルオーディオ上で、方向とスピードをコントロールできる DASA（Digital Audio Scratch Algorhythm）を開発。実際にタッチパッドを指でこすりながらデジタルオーディオをスクラッチできる画期的な方法です。

■エフェクト、ドラムループ、ミキシングー高機能をパソコンで！

パッドを指でたたくだけで手軽に演奏できるエフェクト機能、マウスでクリックするだけで様々なドラムスタイルが作成できるドラムループ機能、3D サウンドボードを使えばヘッドホンとスピーカーで同時出力できるミキシング機能など、DJ リミックスで必要な機能はすべて搭載しました。

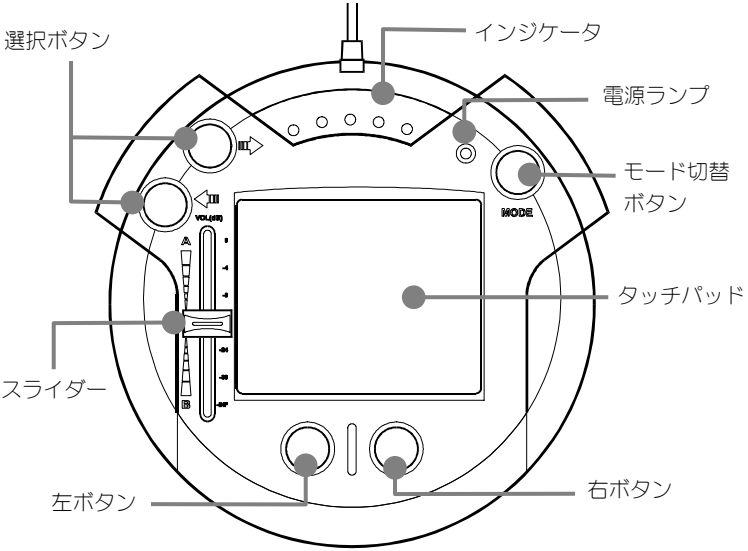
■オリジナルのリミックスを録音して配布！

これら高度な機能を使って仕上げたリミックスは、ボタン 1 つで録音できます（WAVE 形式）。市販の CD ライティングソフトを使って CD-R に録音すれば、自分だけのリミックス CD が出来上がります。

さあ、
貴方も未来のデジタル DJ を目指しましょう。
友人を家に招いてのホームパーティー、親友の結婚式の 2 次会など、本製品さえあれば、あなたもー躍人気者に！

DJ の未来はあなたの腕にかかっています。

各部の名称



名称	機能	参照頁
インジケータ	赤いランプが点灯し、現在のモードを示します。	51
電源ランプ	パソコンに接続すると緑色に点灯します。	ー
モード切替ボタン	ノーマルモードと DJ モードを切り替えます。	48, 49, 51
タッチパッド	ノーマルモード時 指でなぞってカーソルを移動します。 DJ モード時 デジタルオーディオのスクラッチやエフェクトの演奏など特殊なパッドとして使用します。	ー
左/右ボタン	マウスの左/右ボタンと同じ働きをします。	ー
スライダー	主に音量調節に使用します。 画面上、ノブがハイライト状態になっているスライダーと連動します。	45, 53, 62
選択ボタン	ターンテーブルを切り替えます。	44, 53, 62

動作環境

対応機種	USB ポート（USB 1.1 準拠）を搭載した NEC PC98-NX シリーズおよび DOS/V マシン ※ 弊社では、OADG 加盟メーカーの DOS/V マシンで動作確認を行っています。
CPU	PentiumⅡ 350MHz 以上
メモリ	64MB 以上
ハードディスク	50MB 以上の空き容量があること （音楽データの保存領域を除く）
対応 OS （日本語版）	Windows XP、Windows 2000 Windows Me、Windows 98 Second Edition
その他ソフトウェア	Microsoft DirectX 8.0 以上（本製品に添付済み）
CD-ROM	インストール時に必要
USB ポート	本製品接続時に１つ必要
サウンドカード	必須（Microsoft DirectX 8.0 以上をサポートしていること）
グラフィックカード	必須（Microsoft DirectX 8.0 以上をサポートしていること）
解像度・色	800 x 600 ハイカラー(16 ビット)以上



本製品のサウンドはサウンドカード経由で出力します。
本製品をご使用になる前に、サウンドカードやスピーカーが正しく接続され、サウンドが再生できることを確認してください。

DJPAD2020 ソフトウェアのインストール

本書の画面例は Windows XP のものですが、特に明記のない限り、どの Windows をお使いの場合でも操作は同じです。

ここではまだ本製品をパソコンに接続しないでください。

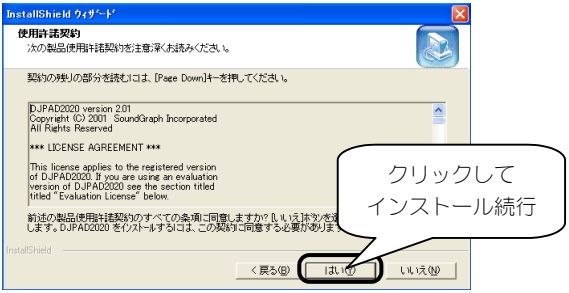
1 Windows を起動し、「DJPAD2020 ソフトウェア」ディスクを CD-ROM ドライブにセットします。

※Windows XP の場合はコンピュータの管理者のアカウント、Windows 2000 の場合は Administrator 権限でログオンしてください。

2 下記の画面が表示されたら、[次へ]ボタンをクリックします。
下記の画面が表示されない場合は、[マイコンピュータ]などで CD-ROM ドライブを開き、[Setup]フォルダの中の[Setup.exe]をダブルクリックしてください。

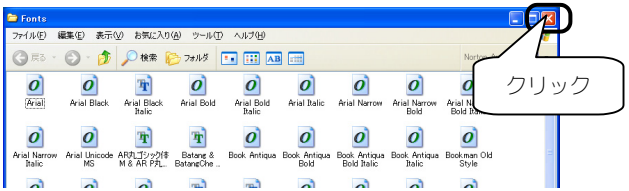


3 [はい]ボタンをクリックしてインストール作業を進めてください。



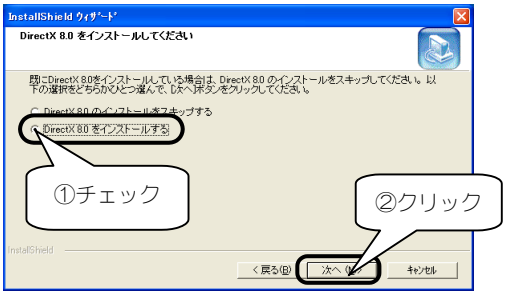
4 特に必要がない限り，[次へ]または[はい]ボタンをクリックしてインストール作業を進めてください。

インストールの途中で、下記のように[fonts]フォルダの一覧画面が表示されたままになる場合があります。その場合は画面右上の[×]ボタンをクリックして画面を閉じてください。



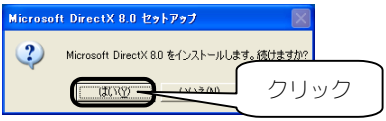
5

DJPAD2020 ソフトウェアのインストールが終わると、下記の画面が表示されます。通常はそのまま[次へ]ボタンをクリックしてください。



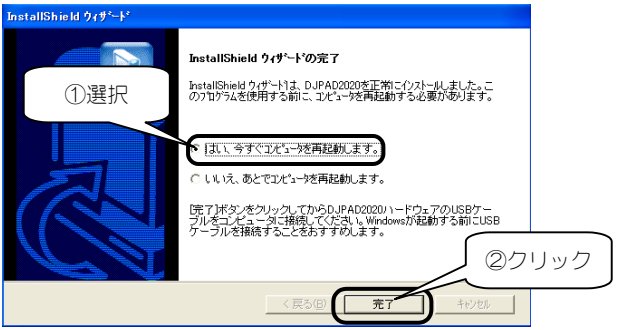
6

[はい]ボタンをクリックします。
画面の指示にしたがって、DirectX のインストールを進めてください。
特別な指定が必要でない限り、[次へ]ボタンまたは[はい]ボタンをクリックしてください。



7

すべてのインストールが終わったら、下記の画面が表示されるので、[はい、今すぐ…]を選択して、[完了]ボタンをクリックします。



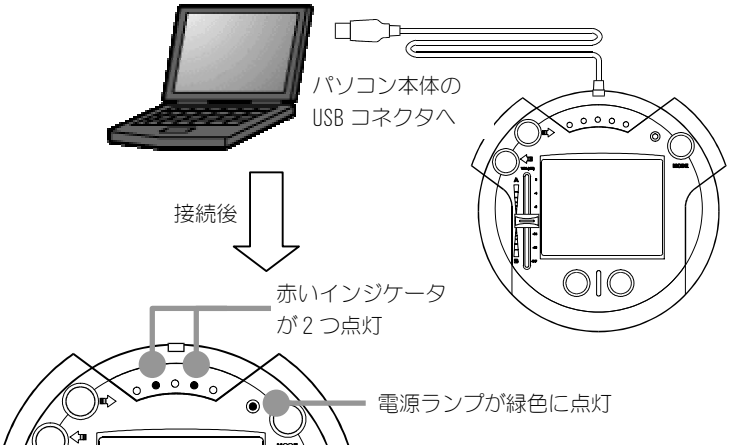
8

Windows が終了したら、再起動する前に、次ページを参照して本製品をパソコンに接続します。

本製品を初めて接続する場合は、パソコンが再起動してから接続すると正しく認識されない場合があります。
本製品は Windows の起動画面が表示される前に接続してください。

パソコンとの接続

本製品の USB コネクタをパソコンに差し込みます。
DJPAD2020本体のインジケータと電源ランプが点灯することを確認してください。



Windows が再起動したらインストール画面が表示されます。この後の手順はお使いの Windows によって異なりますので必要なページをご参照ください。

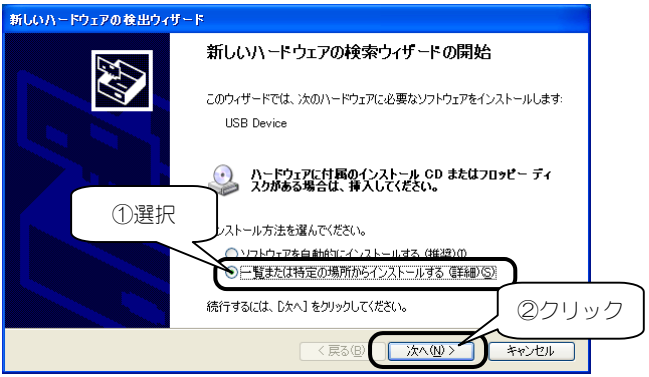
- Windows XP をお使いの場合→次ページ参照
- Windows 2000 をお使いの場合→22 ページ参照
- Windows Me をお使いの場合→27 ページ参照
- Windows 98 をお使いの場合→36 ページ参照

サポートソフトのインストール（Windows XP の場合）

■インストール

1

しばらくして下記の画面が表示されたら、[一覧または特定の・・・]を選択して、[次へ]ボタンをクリックします。

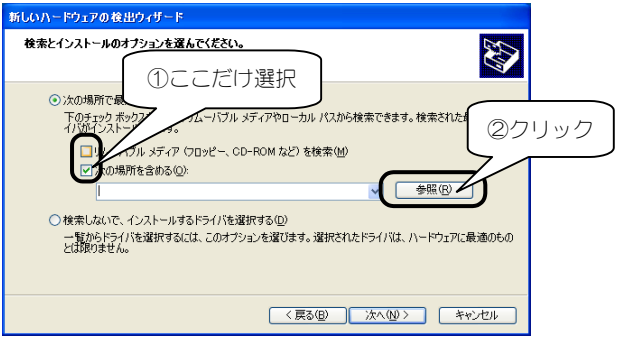


この画面が表示されない場合は…

「トラブルQ＆A」92 ページ参照

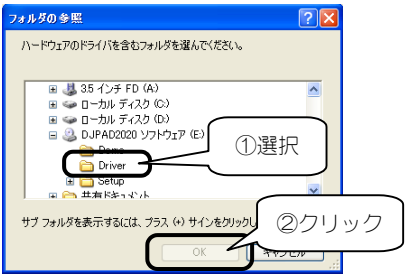
2

[次の場所を含める]だけを選択して、[参照]ボタンをクリックします。



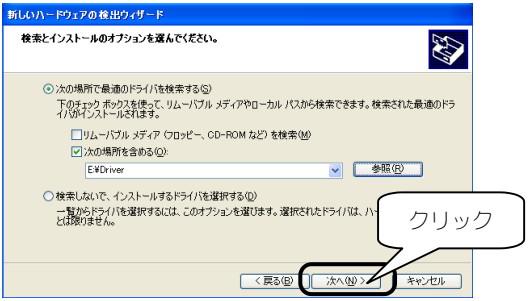
3

DJPAD2020 ソフトウェア CD-ROM の[Driver]フォルダを選択し、[OK]ボタンをクリックします。



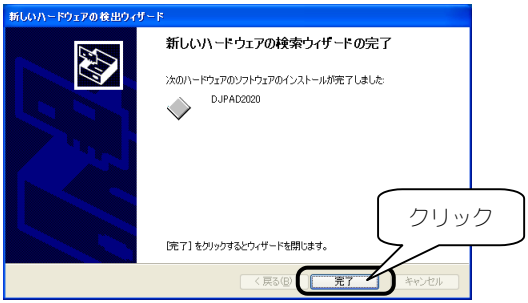
4

[次へ]ボタンをクリックします。



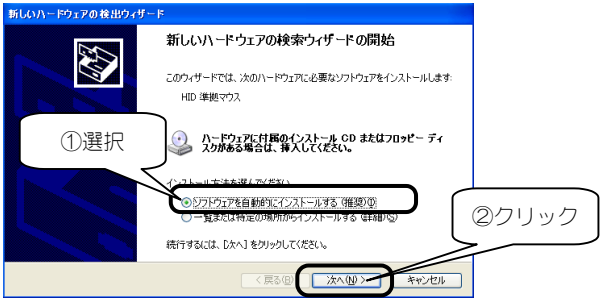
5

しばらくして下記画面が表示されたら、[完了]ボタンをクリックします。



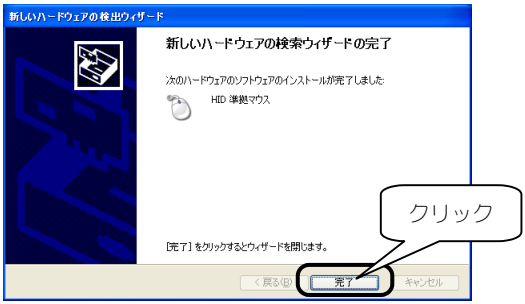
6

引き続き、下記の画面が表示されます。[ソフトウェアを自動的に・・・]を選択して、[次へ]ボタンをクリックします。

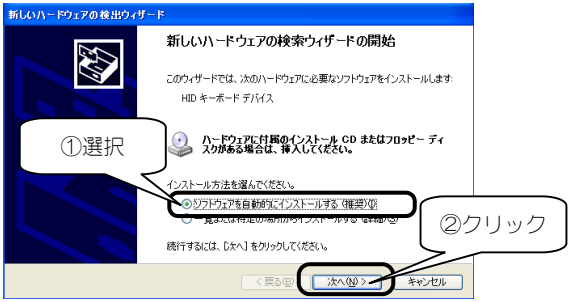


7

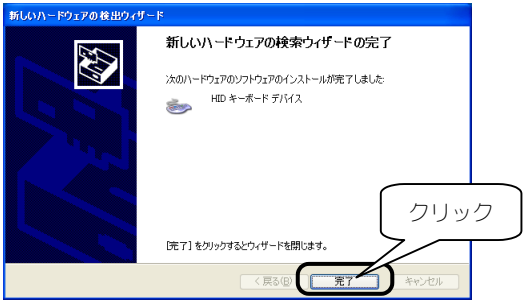
[完了]ボタンをクリックします。



8 引き続き、下記の画面が表示されます。[ソフトウェアを自動的に・・・]を選択して、[次へ]ボタンをクリックします。



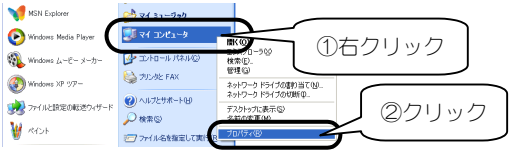
9 [完了]ボタンをクリックします。



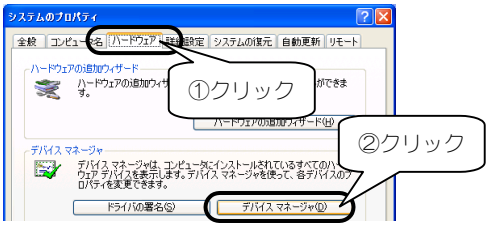
お使いの環境によってはパソコンの再起動を促す画面が表示される場合があります。その場合は画面の指示にしたがってパソコンを再起動してください。
これでインストールは終わりです。「DJPAD2020 ソフトウェア」ディスクをCD-ROMドライブから抜いてください。
次に、インストールが正しく行われたかどうか、確認してみましょう。

■インストール後の確認

1 [スタート]→[マイコンピュータ]を右クリックし、[プロパティ]をクリックします。

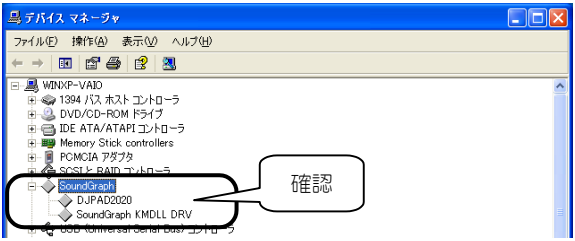


2 [ハードウェア]タブをクリックし、[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。



3

[SoundGraph]をダブルクリックして、[DJPAD2020]と[SoundGraph KMDLL DRV]が表示されていることを確認します。

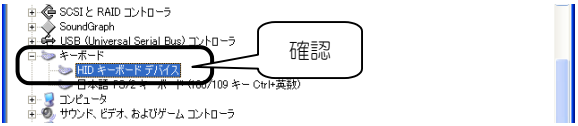


「DJPAD2020」などが表示されない場合は…

「トラブルQ&A」
94 ページ参照

4

[キーボード]をダブルクリックして、[HID キーボードデバイス]が表示されていることを確認します。



「HID キーボードデバイス」が
表示されない場合は…

「トラブルQ&A」
95 ページ参照

5 [マウスとそのほかのポインティングデバイス]をダブルクリックして、[HID 準拠マウス]が表示されていることを確認します。



「HID 準拠マウス」が表示されない場合は… 「トラブルQ＆A」95 ページ参照

6 画面右上の[×]をクリックして、開いている画面を閉じます。

確認できたら、41 ページ「リミックスにチャレンジしよう」へ進んでください。

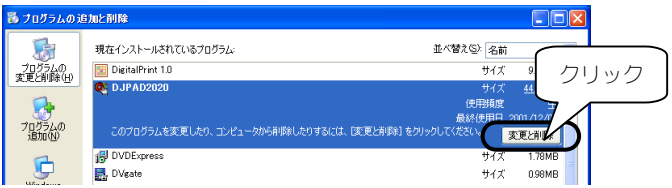
■インストールした情報を削除するには

1 [スタート]→[コントロールパネル]→[プログラムの追加と削除]をクリックします。



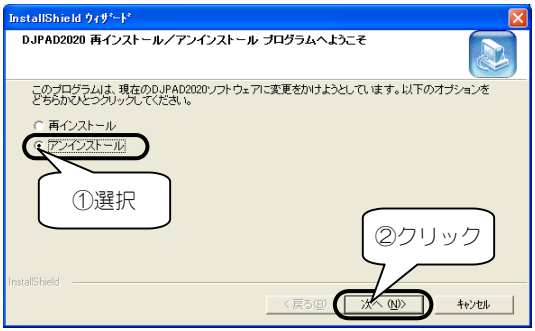
2

[DJPAD2020]をクリックして表示される[変更と削除]ボタンをクリックします。



3

[アンインストール]を選択して、[次へ]ボタンをクリックします。後は画面の指示にしたがって進み、パソコンが再起動したら、削除終了です。

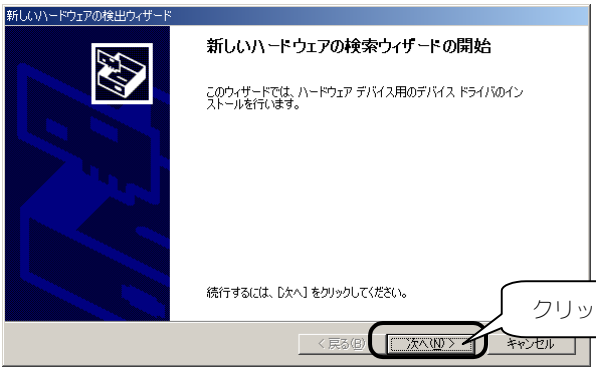


サポートソフトのインストール（Windows 2000 の場合）

■インストール

1

しばらくして下記の画面が表示されたら、[次へ]ボタンをクリックします。

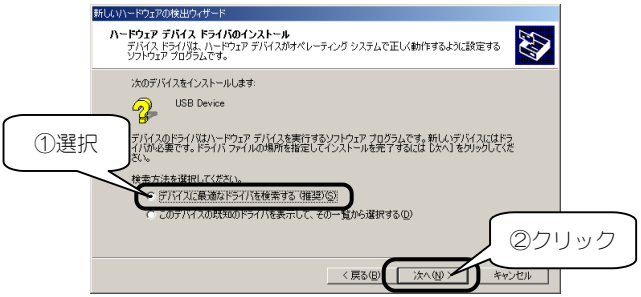


この画面が表示されない場合は…

「トラブルQ＆A」
92 ページ参照

2

[デバイスに最適な・・・]を選択して、[次へ]ボタンをクリックします。



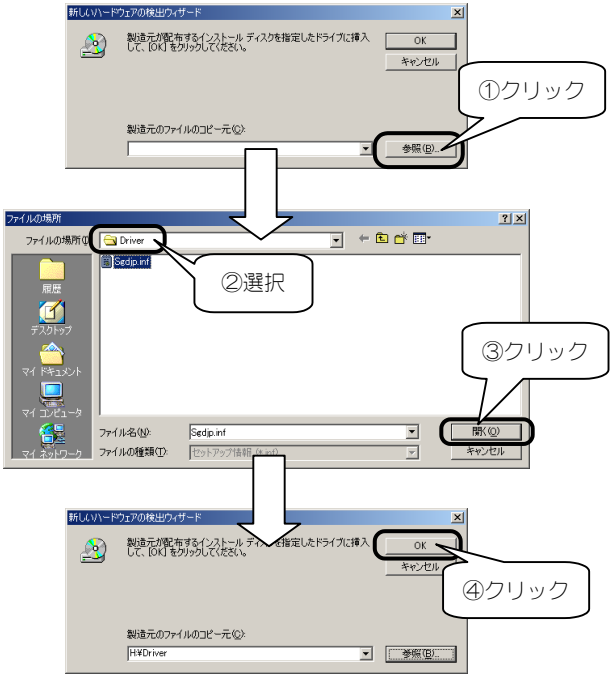
3

[場所を指定]のみをチェックし、[次へ]ボタンをクリックします。



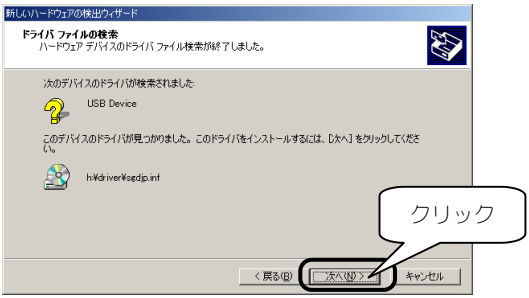
4

[参照]ボタンをクリックして、DJPAD2020 ソフトウェア CD-ROM の [Driver]フォルダを指定します。



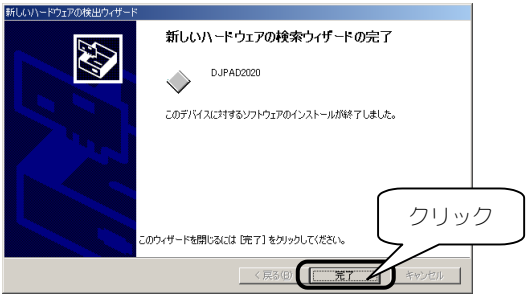
5

[次へ]ボタンをクリックします。



6

しばらくして下記の画面が表示されたら、[完了]ボタンをクリックします。

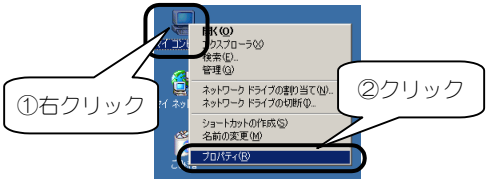


お使いの環境によってはパソコンの再起動を促す画面が表示される場合があり

ます。その場合は画面の指示にしたがってパソコンを再起動してください。
これでインストールは終わりです。「DJPAD2020 ソフトウェア」ディスクを CD-ROM ドライブから抜いてください。
次に、インストールが正しく行われたかどうか、確認してみましょう。

■インストール後の確認

1 [マイコンピュータ]を右クリックして、[プロパティ]を選びます。



この後の操作は Windows XP と同じです。18 ページ手順 **2** 以降を参照してください。
確認できたら、41 ページ「リミックスにチャレンジしよう」へ進んでください。

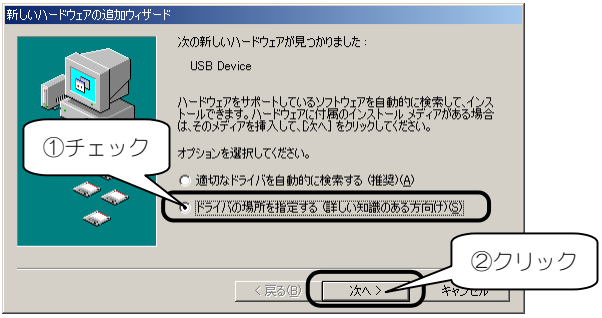
■インストールした情報を削除するには

[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[アプリケーションの追加と削除]を実行し、[DJPAD2020]をクリックして表示される[変更/削除]ボタンをクリックしてください。詳しい操作は Windows XP の 21 ページ手順 **2** 以降を参照してください。

サポートソフトのインストール（Windows Me の場合）

■インストール

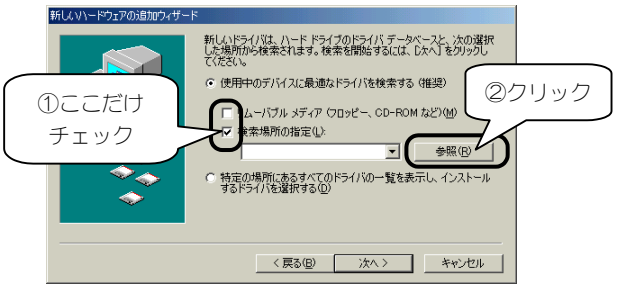
1 しばらくして下記の画面が表示されたら、[ドライバの場所を・・・]をチェックして、[次へ]ボタンをクリックします。



この画面が表示されない場合は… 「トラブルQ＆A」92 ページ参照

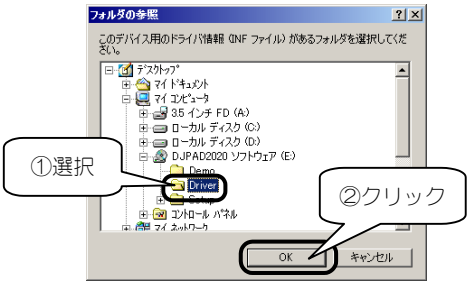
2

[検索場所の指定]のみをチェックして、[参照]ボタンをクリックします。

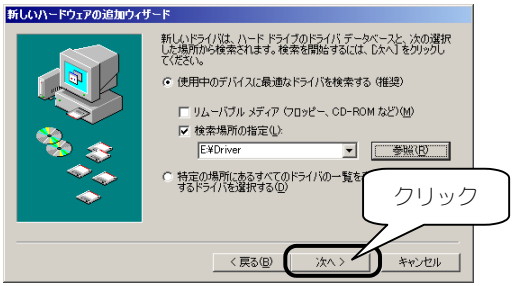


3

DJPAD2020 ソフトウェア CD-ROM の[Driver]フォルダを選択し、[OK]ボタンをクリックします。



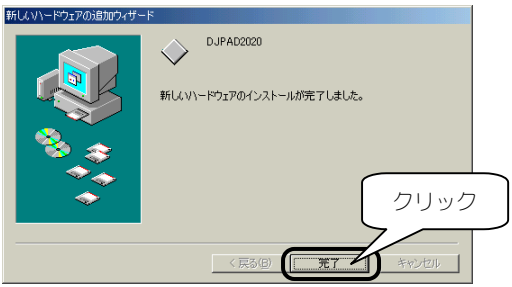
4 [次へ]ボタンをクリックします。



5 [次へ]ボタンをクリックします。



6 しばらくして下記の画面が表示されたら、[完了]ボタンをクリックします。

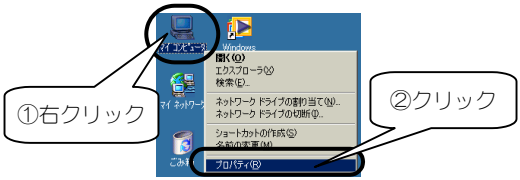


お使いの環境によってはパソコンの再起動を促す画面が表示される場合があります。その場合は画面の指示にしたがってパソコンを再起動してください。
これでインストールは終わりです。「DJPAD2020 ソフトウェア」ディスクをCD-ROMドライブから抜いてください。
次に、インストールが正しく行われたかどうか、確認してみましょう。

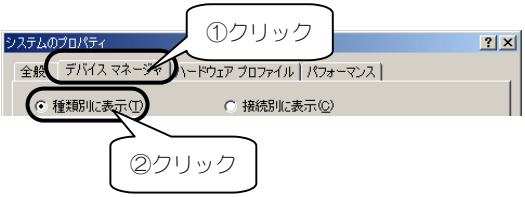
■インストール後の確認

以下の作業は、Windows Me、Windows 98 共通です。

1 [マイコンピュータ]を右クリックして、[プロパティ]を選びます。

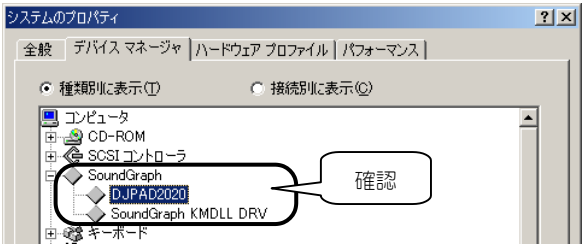


2 [デバイスマネージャ]タブをクリックし、[種類別に表示]をクリックします。



3

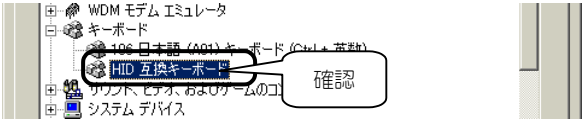
[SoundGraph]をダブルクリックして、[DJPAD2020]と[SoundGraph KMDLL DRV]が表示されていることを確認します。



「DJPAD2020」などが表示されない場合は… → 「トラブルQ＆A」94 ページ参照

4

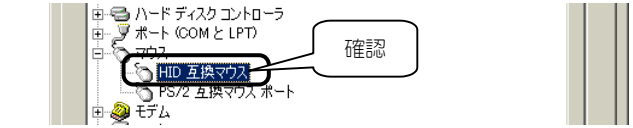
[キーボード]をダブルクリックして、[HID 互換キーボード]が表示されていることを確認します。



「HID 互換キーボード」が表示されない場合は… → 「トラブルQ＆A」95 ページ参照

5

[マウス]をダブルクリックして、[HID 互換マウス]が表示されていることを確認します。



「HID 互換マウス」が表示されない場合は…

「トラブルQ＆A」
95 ページ参照

6

[閉じる]ボタンをクリックして、開いている画面を閉じます。

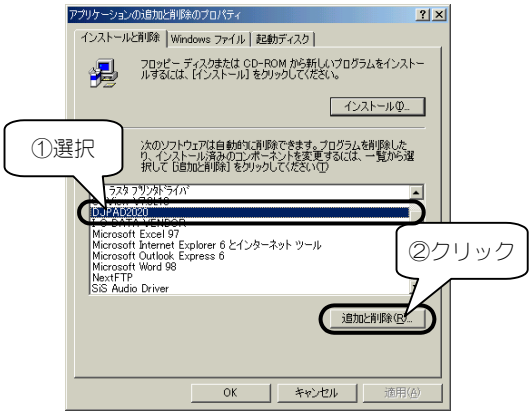
確認できたら、41 ページ「リミックスにチャレンジしよう」へ進んでください。

■インストールした情報を削除するには

以下の作業は、Windows Me、Windows 98 共通です。

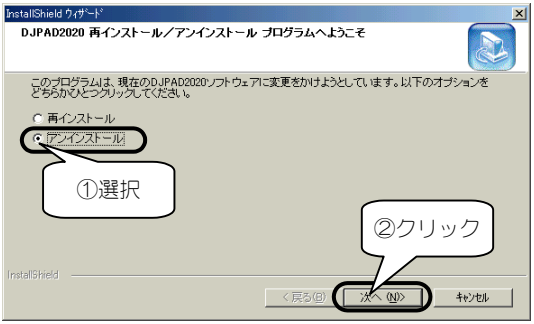
1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[アプリケーションの追加と削除]をクリックします。

2 [DJPAD2020]を選択して、[追加と削除]ボタンをクリックします。



3

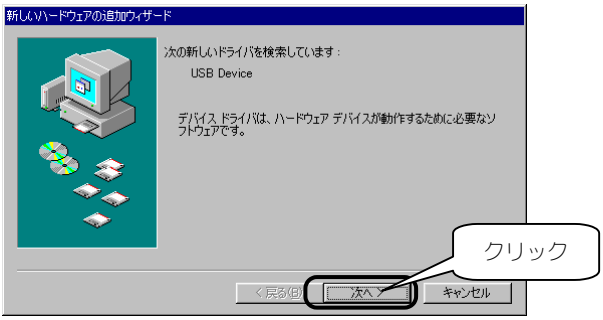
[アンインストール]を選択して、[次へ]ボタンをクリックします。
後は画面の指示にしたがって進み、パソコンが再起動したら、削除終了です。



サポートソフトのインストール（Windows 98 の場合）

■インストール

1 しばらくして下記の画面が表示されたら、[次へ]ボタンをクリックします。

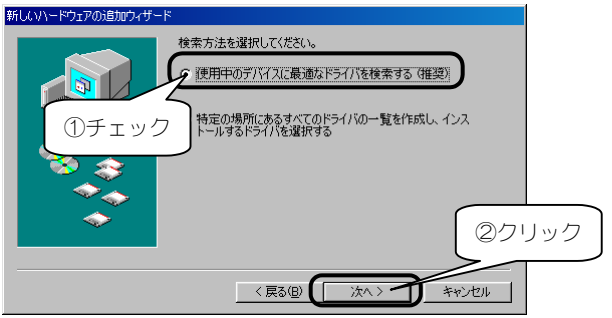


この画面が表示されない場合は…

「トラブルQ＆A」92 ページ参照

2

[使用中のデバイスに最適な・・・]をチェックして、[次へ]ボタンをクリックします。



3

[検索場所の指定]のみを選択して、[参照]ボタンをクリックします。



4

DJPAD2020 ソフトウェア CD-ROM の[Driver]フォルダを選択し、[OK]ボタンをクリックします。



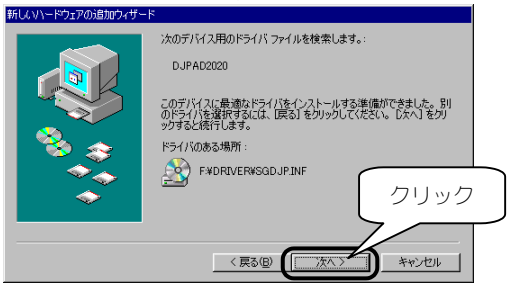
5

[次へ]ボタンをクリックします。



6

［次へ］ボタンをクリックします。



お使いの環境により、Windows 98 の CD-ROM ディスクを要求される場合があります。お持ちの CD-ROM をセットし、画面の指示にしたがって進めてください。

7

下記の画面が表示されたら、［完了］ボタンをクリックします。



お使いの環境によってはパソコンの再起動を促す画面が表示される場合があります。その場合は画面の指示にしたがってパソコンを再起動してください。
これでインストールは終わりです。「DJPAD2020 ソフトウェア」ディスクを CD-ROM ドライブから抜いてください。
次に、インストールが正しく行われたかどうか、確認してみましょう。

■インストール後の確認

Windows Me の場合と同じです。31 ページを参照して、確認してください。
確認できたら、41 ページ「リミックスにチャレンジしよう」へ進んでください。

■インストールした情報を削除するには

[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[アプリケーションの追加と削除]を実行し、[DJPAD2020]を選び、[追加と削除]ボタンをクリックしてください。
詳しい操作は Windows Me の場合と同じです。34 ページを参照してください。

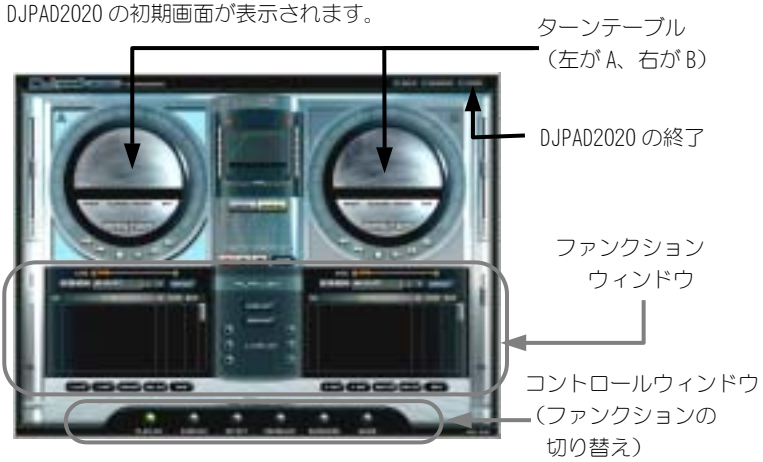
まずは曲の再生から

■音楽データはご自分でご用意ください

本製品で再生できる音楽データは MP3・音楽 CD・WAVE 形式のデータです。これらはご自分でご用意ください。

■DJPAD2020 を起動しよう

本製品をパソコンに接続し（11 ページ「パソコンとの接続」参照）、デスクトップのアイコンをダブルクリックするか、[スタート]－[プログラム（すべてのプログラム）]－[SoundGraph]－[DJPAD2020]をクリックしてください。
DJPAD2020 の初期画面が表示されます。



■２つのターンテーブルで同時に再生してみよう

1 ターンテーブル A で再生したい曲は、左側の[+FILE]ボタンをクリックして、再生したい音楽データを選択します。
[+DIR]ボタンを押すと指定したフォルダに入っているすべての音楽データを一度に読み込むことができます。



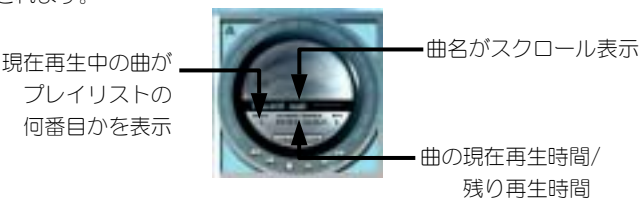
2 ターンテーブル B で再生したい曲は、右側の[+FILE]ボタンまたは[+DIR]ボタンをクリックします。



3 左右それぞれの曲名が表示されたら、ターンテーブルにある再生ボタンをクリックします（曲名をダブルクリックしてもOK）。



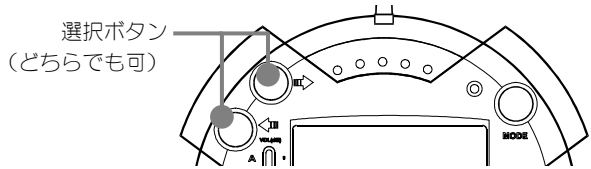
4 2 つの曲が同時に再生され、それぞれのターンテーブルに曲情報が表示されます。



次はボリュームをコントロールしてみましょう。

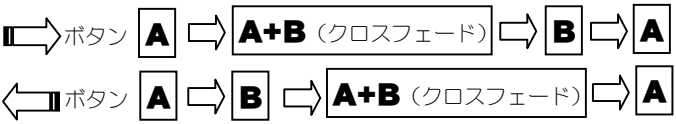
■ボリュームをコントロールしてみよう

1 本体の選択ボタンを押して、ボリュームを変えたい方のターンテーブルをハイライト状態にします。



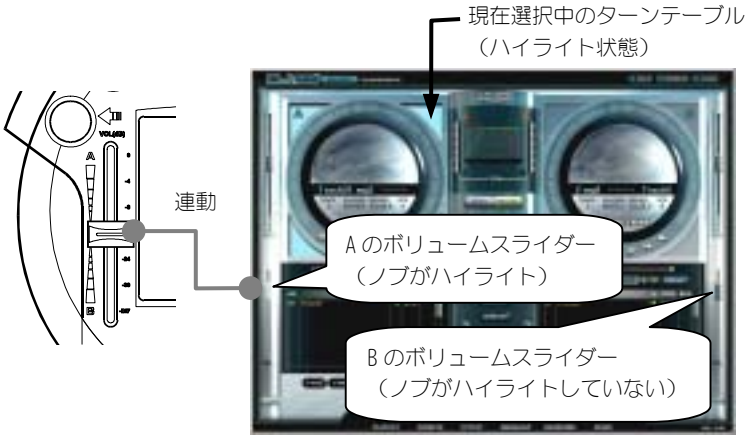


選択ボタンを押すと、以下のようにターンテーブルが変わります。
（クロスフェードについては 46 ページで説明）



2

本体のスライダーを動かすと選択した方のボリュームが変わります。
（選択したターンテーブルのボリュームスライダーノブも同時に
ハイライト状態になります。）



次はリミックスで最もよく使うテクニック「クロスフェード」をやってみましょう。クロスフェードとは 2 つの曲のボリュームを同時にコントロールする方法で、1 つの曲のボリュームをだんだん小さくすると同時に、もう片方の曲のボリュームを上げていき、2 つの曲をスムーズにつなげる方法です。

■2 つの曲をクロスフェードしてつなげてみよう

1 本体の選択ボタンを押して、ターンテーブル A と B が両方選択されている状態にします。

2 本体のスライダーを動かすと、2 つの曲のボリュームがクロスフェード曲線にしたがって変化します。



クロスフェード曲線グラフの赤い曲線は A のボリューム、緑の曲線は B のボリュームを示します。本体のスライダーを動かすと、クロスフェーダーのノブも動き、ノブ位置の曲線に合わせてそれぞれのボリュームが変わります。
クロスフェード曲線は赤い◀、▶ボタンを押せば切り替わります。
（詳細は 56 ページ「クロスフェードをマスターしよう」を参照）

リミックスを体験しよう！

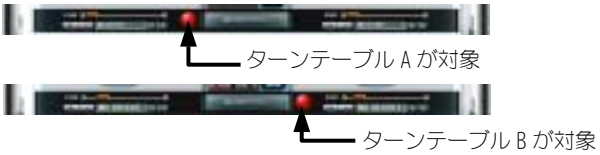
リミックスは大変奥深いものですが、ここでは、スクラッチとエフェクトという2大機能を使ってみましょう。それらの詳しい機能は後で説明します。

■スクラッチにチャレンジ！

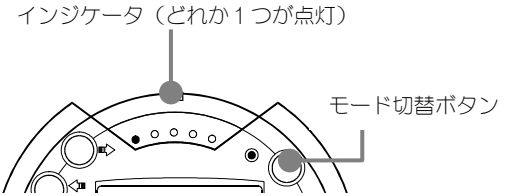
1 ターンテーブルで音楽を再生している状態で、[コントロールウィンドウ]の[SCRATCH]ボタンをクリックします。



2 本体の選択ボタンを押して、スクラッチ対象となるターンテーブルを選びます。赤いランプがついたほうが対象です（2つのターンテーブルを同時に選択することはできません）。



3 本体のモード切替ボタンを押して、DJ モードにします。
画面上のカーソルが消え、インジケータが DJ モードになります。



4 タッチパッドを指でこすってください。指の動きに合わせて、赤い回転インジケータが動き、スクラッチ音が出ます。
本体のスライダーを動かすと、ボリューム調整ができます。



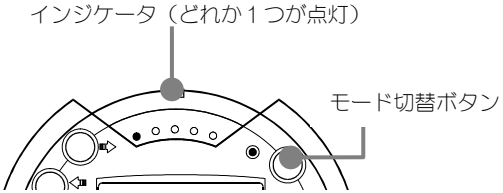
アナログレコード感覚でスクラッチできましたか？　もうあなたは DJ です。
スクラッチを終わるときは、本体のモード切替ボタンを再度押してください。
次はエフェクトを入れてみましょう。

■エフェクトを入れてみよう

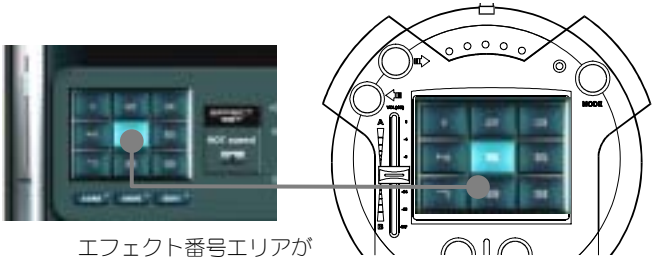
1 ターンテーブルで音楽を再生している状態で、[コントロールウィンドウ]の[EFFECT]ボタンをクリックします。



2 本体のモード切替ボタンを押して、DJ モードにします。
画面上のカーソルが消え、インジケータが DJ モードになります。



3 タッチパッドを指でたたいてください。たたいた場所に合わせてエフェクト（9 種類）が再生されます。
本体のスライダーを動かすと、ボリューム調節ができます。



エフェクト番号エリアが
タッチパッド上と連動

リズムに合わせてタッチパッドをたたくと色々なエフェクトを簡単に入れることができます。
エフェクトは自分で自由に変更してオリジナルエフェクトを作ることもできます（詳細は 73 ページ「詳細編（エフェクトパッド）」参照）
エフェクトを終わるときは、本体のモード切替ボタンを再度押してください。

次ページからは本製品を使う上で必ず必要となる基本機能を説明します。リミックスを楽しむために、必ずお読みください。

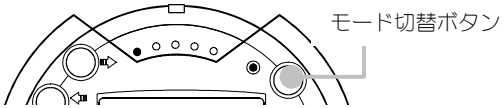
基本機能を覚えよう

■ノーマルモードと DJ モード

本製品にはノーマルモードと DJ モードの 2 つがあります。モードによって本製品の使い方が異なります。

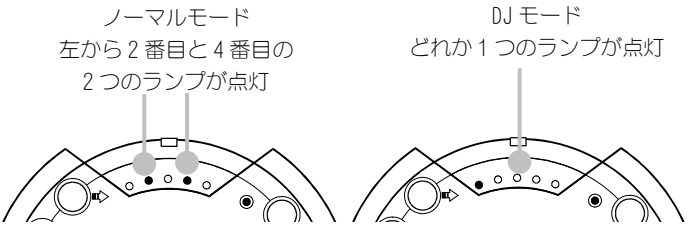
▼モードを切り替えるには

本体のモード切替ボタンを押します。



▼現在のモードを判別するには

インジケータにある 5 つの赤いランプの点灯によって、モードを示しています。DJPAD2020 起動時はノーマルモードにしてください。



▼モードの特徴

- ノーマルモード
  画面上にカーソルが表示され、本製品は高機能ポインティングデバイスとしてマウスの代わりになります。
  タッチパッド上で指を動かすことにより、画面上のマウスカーソルが移動します。本体の左/右ボタンを押せば、マウスのクリックになります。
  また、他の Windows アプリケーションと一緒に使うこともできます（62 ページ「マウスとして使うには」参照）。
- DJ モード
  エフェクト再生とスクラッチのときだけ使います。画面上のカーソルは消え、ポインティングデバイスとしては機能せず、特殊なパッドになります。

■ターンテーブル

リミックスの基本は 2 つの曲を同時再生してつないでいくことです。そのために本製品では 2 つのターンテーブルが用意されています。

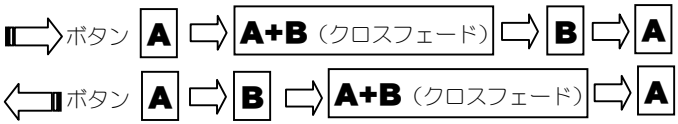


▼ターンテーブルを選択するには

ターンテーブルの後ろがハイライトになっているのは、このターンテーブルを選択しているという意味です。



本体の選択ボタンを押すたびに選択ターンテーブルは次のように変わります。



■ピッチスライダーの使い方

- 片方のターンテーブルを選択している状態：
  選択中のターンテーブルの音量調節
- ２つのターンテーブルを選択している状態：
  クロスフェーダーの調節
  （56 ページ「クロスフェードをマスターしよう」参照）

画面上にあるスライダーノブをクリックすると、どのスライダーでも本体のスライダーで制御できるようになります。

画面上のスライダーノブを右クリックすると、ノブの位置が最初の位置に戻ります。

■曲の再生とピッチの変更

▼曲の再生をコントロールするには

曲の再生をコントロールするには、ターンテーブルにあるボタンを使います。



また、これらのコントロールはキーボードで操作することもできます。

[↑][↓]キー：プレイリスト中の曲選択
[←][→]キー：曲選択の対象をプレイリスト A または B に切り替え
[ENTER]キー：選択した曲の再生
[SPACE]キー：再生または一時停止

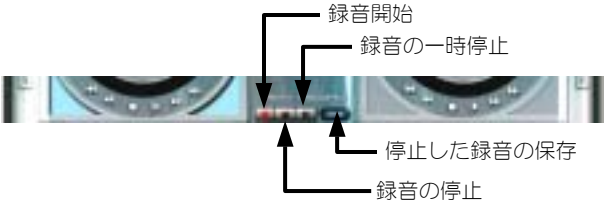
▼曲のピッチを変えるには

ターンテーブルの左右にはピッチスライダーがついています。スライダーを動かすと曲の再生スピードが変わるので、リズムの間を開けずに、曲と曲の間をつなぐことができます。
スライダーのノブをクリックすると、本体のスライダーでピッチがコントロールできるようになります。
変更できるピッチの範囲は 50%から 150%です。



■リミックスの録音

ご自分でリミックスした曲はリアルタイムでWaveファイルとして保存できます。
録音したいときは次の操作を行ってください。



1. 赤い録音ボタンを押します。
2. リミックスを行います。途中、録音の一時停止をすることもできます。
3. 録音したいリミックスがすべて終わったら、停止ボタンを押します。
4. 保存ボタンを押してファイル名をつけて保存します。

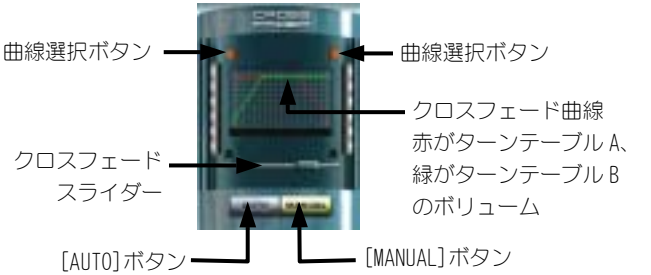
保存したWAVEファイルは市販のCDライティングソフトで音楽CD用のデータとしてご利用いただけます。また、市販のエンコーダソフトを使ってMP3などに変換することも可能です。

クロスフェードをマスターしよう

クロスフェードとは 2 つの曲のボリュームを同時にコントロールする方法で、1 つの曲のボリュームをだんだん小さくすると同時に、もう片方の曲のボリュームを上げていき、2 つの曲をつなげる方法です。

▼クロスフェーダーウインドウ

クロスフェーダーウィンドウは 2 つのターンテーブルの中間にあります。
クロスフェードには「マニュアルモード」と「オートモード」があり、デフォルトはマニュアルモードです。モードの切り替えは[AUTO]ボタンまたは[MANUAL]ボタンで行います。



▼クロスフェード曲線を切り替えるには

2 つの曲のボリュームはクロスフェード曲線に従って変化します。この曲線は赤い◀、▶ボタン（曲線選択ボタン）を押して切り替えることができます（全 5 種類）。

▶ボタン：次の曲線を表示、◀ボタン：1 つ前の曲線を表示

▼マニュアルモードでのクロスフェード

マニュアルモードは2つのターンテーブルを同時に選択したときに有効になります。曲の再生に合わせてクロスフェードスライダーのノブが移動し、ノブ位置にあたるクロスフェード曲線に合わせて 2 つの曲のボリュームが変わります。
本体のスライダーでクロスフェードスライダーを制御できます。

▼オートモードでのクロスフェード

オートモードはプレイリスト上の曲を連続的自動的に演奏したいときに使います。あらかじめ設定した秒数やクロスフェード曲線にしたがって、プレイリストにある全ての曲を自動的にクロスフェードしながら再生していきます。
使い方は以下の通りです。

1. どちらか片方のターンテーブルで曲を再生します。
2. [AUTO]ボタンを押して、オートモードにします。



3. ◀、▶ボタンを押して、クロスフェード曲線を選択します（全 12 種類）。
4. スライダーを動かして[FADE TIME]を設定します。
   設定値は 0〜20 秒の間でデフォルトは 10 秒です。

例えば、[FADE TIME]が 10 秒間であれば、曲が終わる 10 秒前からクロスフェード曲線に従ってクロスフェードを開始し、もう片方のターンテーブルの曲の再生を開始します。

オートモードでは自動的にターンテーブル A、B の曲を切り替えて再生します。
[LOOP LIST]チェックボックスが ON のときは全曲を再生後、最初からまた再生を開始します（[LOOP LIST]は 65 ページ参照）。
[FADE GO]ボタンを押すと強制的にクロスフェードを開始します。
オートモード中は一時停止などの制御やターンテーブル選択はできません。
オートモードを終わらせるには[MANUAL]ボタンを押します。

ファンクションウィンドウを切り替えよう

DJPAD2020 ソフトウェア画面の下半分はファンクションウィンドウです。
このウィンドウは本製品の 6 つの機能（プレイリスト、スクラッチパッド、エフェクトパッド、ドラムループ、EQ/リバーブ、ミキサー）を表示します。
ウィンドウを表示するにはコントロールウィンドウにあるそれぞれのボタンを押すか、[TAB]キーを押します。



表示したい機能はキーボードで変更することもできます。

[TAB]キー：現在表示しているウィンドウの次のファンクションを表示
[Shift]+[TAB]キー：現在表示しているウィンドウの前のファンクションを表示

■ファンクションウィンドウの機能

詳細は各ウィンドウの参照ページをご覧ください。

▼プレイリスト（63 ページ参照）

曲の再生に関するウィンドウで本製品の最も基本的な機能です。



▼スクラッチパッド（71 ページ参照）

アナログ DJ の感覚でタッチパッドを使ってのスクラッチをお楽しみください。



▼エフェクトパッド（73 ページ参照）

様々なエフェクトを使ったり、オリジナルのエフェクトを作成できます。



▼ドラムループ（77 ページ参照）

設定されたドラム音を使うだけでなく簡単にドラムスタイルを作成できます。



▼EQ/リバーブ（83 ページ参照）

ターンテーブルごとの音質やリバーブを細かく設定できます。



▼ミキサー（87 ページ参照）

2 つのトラック、エフェクトとドラムループ、ラインイン、マイクインをミキサーコントロールできます。

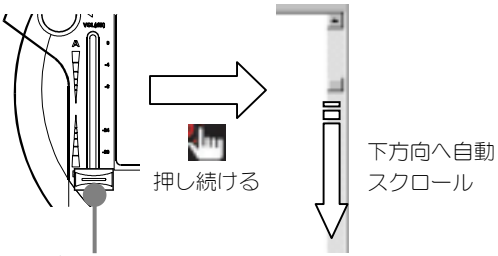


マウスとして使うには

本製品は DJPAD2020 ソフトだけではなく、他の Windows アプリケーションで使っても、大変便利なポインティングデバイスとなるように設計されています。

- タッチパッド：マウスカーソルを指で移動させることができます。
- 選択ボタン：Internet Explorer をお使いのときは、⇨ ボタンが[進む]アイコンクリックに、⇦ ボタンが[戻る]アイコンクリックと同様の機能になります。
- 左/右ボタン：マウスの左/右ボタンと同様です。
- スライダー：スライダーを動かして画面スクロールができます。

  本体のスライダーが一番上または下にあるとき、タッチパッドのマークを押し続けると自動的にスクロールします。



ノブが一番上にあるときに押し続けると、上方向に自動スクロールします。

プレイリストは DJPAD2020 の基本的な機能で、演奏予定の曲を選んだり、曲順やボリュームをコントロールするほか、CUE ポイントの挿入や BPM 計算も行います。ここではプレイリストの使い方を詳しく説明します。プレイリストを表示するには、コントロールウィンドウの[PLAYLIST]ボタンを押します。

曲の読み込み



▼1つの音楽データを読み込むには

[+FILE]ボタンをクリックして、読み込みたい音楽データ（MP3、WAVE、音楽 CD）を指定します。選んだファイルはプレイリストに追加されます。
曲名の横の○印は音楽データの形式を示しています。オレンジ色が音楽 CD（CDA）、緑色が MP3、青色が Wave データです。

▼複数の音楽データを一度に読み込むには

[+DIR]ボタンをクリックして、音楽データが入っているフォルダを指定すると、そのフォルダに入っているすべての曲がプレイリストに追加されます。アーティ

ストごとやお気に入りの曲を１つのフォルダに入れておくと、一度にそれらの曲を読み込むことができます。

▼プレイリストの曲を削除するには

削除したいファイルを選択してから[DELETE]ボタンを押します。
[DEL ALL]ボタンを押すと、プレイリスト内の全てのファイルが一度に削除されます。（どちらのボタンでも実際のデータが削除されるわけではありません。）

曲の再生と曲順の変更

ターンテーブルの再生ボタンをクリックすると、プレイリスト中でオレンジ色になっている曲から順に再生されます。再生曲を変えたい場合は別の曲をダブルクリックします。



▼同一トラック内の曲順を変更するには

曲順を変更したい曲を選択し、▲ボタンを押すと１つ先になり、▼ボタンを押すと１つ後になります。

▼トラックを入れ替えるには

トラックを入れ替えるには、▶ボタンと◀ボタンを使います。トラックAのリストから曲を選択し、▶ボタンを押すと、トラックBのリストの最後に移動します。逆は◀ボタンで行います。

▼連続再生をするには

[LOOP LIST]チェックボックスをON（緑色）にすると、リスト最終曲を再生した後、先頭曲に戻って再生を続けます。連続再生はDJPAD2020ソフトウェアを終了するまで続きます。このチェックボックスがOFFのとき（デフォルト）は、リスト最終曲を再生し終わると、曲の再生を停止します。

ボリュームのコントロール



▼片方のターンテーブルだけが選択されている場合

選択されている方のボリュームスライダーが自動的に有効になり（ハイライトされている状態）、本体のスライダーを使ってボリュームがコントロールできます。

▼両方のターンテーブルが選択されている場合（クロスフェード状態）

自動的に有効になるのはクロスフェーダーのスライダーです。どちらか片方の音量を変更したい場合は、ボリュームスライダーのノブをクリックしてから、本体のスライダーを使ってください。音量調節後、クロスフェーダーのスライダー（どこでも可）をクリックすると、本体のスライダーはクロスフェーダーとして使うことができます（56 ページ「クロスフェードをマスターしよう」参照）。

プレイリストの保存と読み込み



▼プレイリストを保存するには

[SAVE LIST]ボタンをクリックすると両方のトラックのプレイリスト情報を１つのファイルとして保存します。

プレイリストを保存しておけば、たくさんの音楽データやフォルダを探し出して読み込む必要がなく、次回からボタン１つで読み込むことができます。

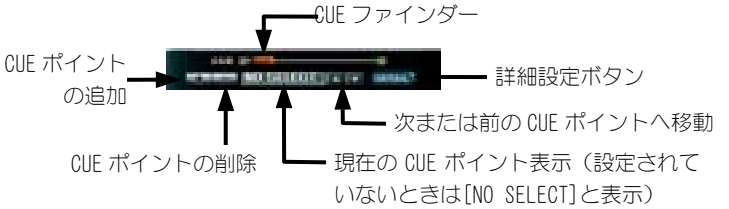
また、CUE ポイントや BPM も保存するので、次回にリミックスするときに、これらの情報をすぐに使うことができます（CUE ポイントや BPM は 67, 69 ページ参照）。

▼プレイリストを読み込むには

[LOAD LIST]ボタンをクリックすると保存されているプレイリストから読み込みたいリストを指定できます。

CUE ポイントの設定

CUE ポイントはユーザーの目的に応じて再生中に入れる「目印」です。CUE ポイントは 1 曲につき 10 個所まで入れることができ、プレイリストを保存すれば自動的にそのポイントも保存されます。CUE ポイントはリミックスをする上でとても便利なものです。CUE ファインダーを使えば、設定した CUE ポイントに簡単にアクセスできるので、リミックス時にスクラッチやドラムリズムと合わせやすくなります。一度、CUE ポイントを保存すると、その曲に入っている CUE ポイントをいつでも使うことができます。
CUE ファインダーは各トラックのプレイリストの上部にあります。



▼曲の再生位置を変えるには

ターンテーブルの早送り、早戻しボタンを押す以外にも、CUE ファインダーをスライドすることで再生位置を変えることができます。CUE ファインダーは曲の再生に合わせて左から右へと移動します。

▼CUE ポイントを設定するには

再生中に[+]ボタンをクリックして、CUE ポイント名を指定します。CUE ポイントを設定すると、No.と CUE ポイント名が表示されます。
CUE ポイントが設定されているとき、ターンテーブルの停止ボタンをクリックすると、最も近い CUE ポイントで正確に停止させることができます。

▼CUE ポイントを移動するには

[▲]ボタンをクリックすると、次の CUE ポイントまで移動します。[▼]ボタンをクリックすると、前の CUE ポイントへ戻ります。CUE ファインダーも同時に移動します。

▼CUE ポイントを削除するには

[-]ボタンをクリックすると、現在表示されている CUE ポイントが削除されます。

▼正確に CUE ポイントを作るには

[DETAIL]ボタンを使うと、設定した CUE ポイントをサウンドウェーブで確認しながら、1000 分の 1 秒の正確さで変更することができます。方法は以下の通りです。

1. だいたいの位置で CUE ポイントを設定し、再生を停止します。
2. [DETAIL]ボタンをクリックします。
3. CUE ポイント付近のサウンドウェーブが表示されるので、設定したい位置をクリックします（次ページ参照）。
4. [PLAY]ボタンを押して設定した CUE ポイントを確認し、良ければ[OK]ボタンをクリックします。



BPM 計算

BPM とは「Beat Per Minute」の略で曲のスピードとリズムを数値で示したものです。BPM が近いと 2 つの曲は合わせやすくなりますが、アナログシステムにおいて 2 つの曲の BPM を合わせることは大変高度な技術を要します。BPM を調節するために、DJ は曲の全ての BPM データを覚えて、曲のピッチを自分の感覚だけでコントロールしています。
しかし、本製品では簡単に曲の BPM を測ることができます。この機能は本製品の中でも特に便利なものです。この機能を使えば、誰にでも簡単にリミックスを楽しむことができるのです。

BPM 計算を開始するには、曲の再生中に[BPM]ボタンをクリックします。



BPM ウィンドウが表示されたら、トリガーボタンの上にカーソルを移動させてください。そして曲のリズムに合わせて 4 回クリックすると、その曲の BPM が計算されて表示されます。



タッチパッド上で指をタップすることによりクリックできますが、曲のビートに合わせてもっと正確に早くクリックするためには、本体の左ボタンを使ってください。

BPM 計算は何度も行うことができます。[OK]ボタンをクリックするとプレイリストに戻り、計算した BPM が表示されます。この値はプレイリストを保存すると同時に保存されます。

CUE ポイントと BPM を上手に使ってリミックスをお楽しみください。



詳細編（スクラッチパッド） 71

スクラッチパッドはデジタルオーディオのスクラッチを行うための機能です。
たいてい DJ は指で LP レコードを前、後ろにスピンさせて、スクラッチ音を出します。これまでは、LP レコードとターンテーブルを使用する方法以外はこのスクラッチ音は出せないとされてきました。しかしながら、本製品では、デジタルオーディオのディレクションとスピードをコントロールする DASA（Digital Audio Scratch Algorhythm）を開発し、リアルタイムで MP3、音楽 CD、Wave ファイルのオーディオスクラッチを楽しむことができるようになりました。
ここではスクラッチパッドの使い方を詳しく説明します。

スクラッチの基本操作

47 ページ「スクラッチにチャレンジ！」を参照してください。

スクラッチの詳細設定

これらの設定は、本体のモード切替ボタンを使ってノーマルモードの状態にしてから行ってください。



▼フィンガースピード

指の動きの速さを調節します。このスライダーを移動させるとターンテーブル上にスピードが%表示されます。フィンガースピードを上げれば（右へスライド）、タッチパッド上での指の動きに対して LP レコードの回転が敏感に反応します。指の動きを速くしたいときは、フィンガースピードを上げてください。

▼回転スピード

画面上の LP 回転のスピードを変えます。スクラッチ自体のスピードとは関係がありません。

▼回転方向ボタン

画面上の LP 回転の方向を決めます。[CW]ボタンをクリックすると時計回りになり、[CCW]ボタンをクリックすると反時計回りになります。現在、緑色にハイライトしている方が選択されている回転方向になります。

CUE ポイントの利用

CUE ポイントを設定した後、ターンテーブルの停止ボタンをクリックすると、CUE ポイントで曲が停止しますが、画面上の LP レコードも同時に停止します。この状態で、モード切替ボタンを押して DJ モードにすると、CUE ポイントから正確にスクラッチを開始することができます。
CUE ポイントでのスクラッチをやめる場合は、ターンテーブルの再生ボタンをクリックしてください。
CUE ポイントについては 67 ページ「CUE ポイントの設定」を参照してください。



1回のスクラッチで移動できる時間は最大 10 秒間です。それ以上スクラッチを続けると音と曲の再生時間がずれてしまいます。

詳細編（エフェクトパッド） 73

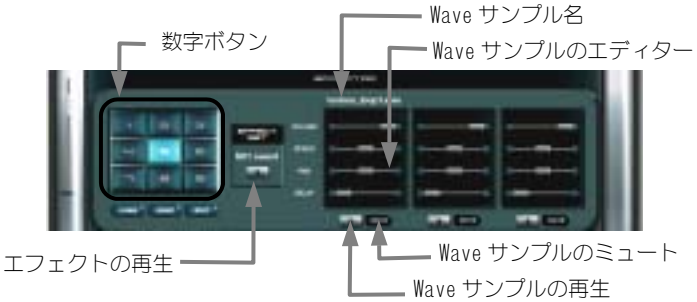
エフェクトパッドはリミックスに様々なエフェクトを入れることができる機能です。DJ はイントロ部分や２つの曲の間をエフェクトで埋めていきます。本製品では、あらかじめ設定されているエフェクトのほか、好きなエフェクトを簡単に作成することもできます。ここではエフェクトパッドの使い方を詳しく説明します。エフェクトパッドを表示するには、コントロールウィンドウの[EFFECT]ボタンを押します。

設定済みのエフェクトを再生する

49 ページ「エフェクトを入れてみよう」を参照してください。

Wave サンプルを編集する

1 つのエフェクトは最大 3 つの Wave サンプルから構成されています。
本製品では 3 つの Wave サンプルそれぞれに対して細かい設定ができます。
この編集はモード切替ボタンでノーマルモードの状態にしてから行います。
編集したいエフェクトを数字ボタンで選択してください。



▼Wave サンプルのエディター

以下の 4 つのスライダーがあります。

[VOLUME]：Wave サンプルのボリュームを変更します。

[SPEED]：Wave サンプルのスピードを変更します。

[PAN]：左右のスピーカーから出るボリュームのバランスを変更します。

[DELAY]：Wave サンプルを再生するときの時間のズレを設定します。
右にスライドするとこの Wave サンプルの再生開始が遅くなります。この機能を使って、エフェクトのサンプルのズレを作ることができます。

▼Wave サンプルやエフェクトを試聴するには

Wave サンプルエディターの下にある[wave サンプルの再生]ボタンをクリックすると、編集したサンプルだけを再生します。また、[エフェクトの再生]ボタンをクリックすると、編集したサンプルを含めたエフェクト全体を再生します（Wave サンプルが 1 つの場合は同じです）。

▼Wave サンプルをミュートするには

[MUTE]をクリックするとその Wave サンプルはミュート（消音）になります。

エフェクトの構成を変える

エフェクトに割り当てられている Wave サンプルの構成を変えたり、ご自分で用意した Wave データを使って、お好きなエフェクトを簡単に作ることができます。エフェクトの構成を変えるには、[EDIT]ボタンをクリックします。



▼Wave サンプルを選択するには

[DIR]ボタンをクリックして、Wave サンプルが入っているフォルダを選択します。

Wave サンプルをご自分で用意される場合、Wave サンプルのデータサイズは最大 3MB 程度を目安にしてください。それ以上の Wave データを読み込むと動作が不安定になる場合があります。

▼Wave サンプルをエフェクトに設定するには

1. Wave サンプル一覧から、設定したい Wave サンプルをクリックします。
2. 次に、割り当て一覧から、Wave サンプルを入れたいエフェクト番号をクリックします。割り当て一覧の番号はエフェクト番号に対応し、1～9 まであります（4 以上はスクロールして表示）。
3. ▶ボタンをクリックします。

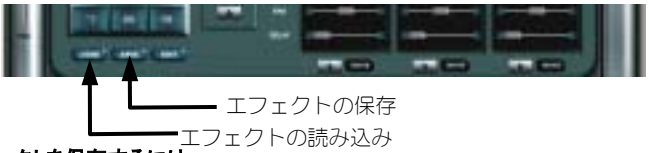
▼エフェクトの Wave サンプルを削除するには

割り当て一覧から、削除したい Wave サンプルをクリックして、◀ボタンをクリックしてください。1～9 までのエフェクトに割り当てられている Wave サンプルを

すべて削除したいときは、[RESET]ボタンをクリックしてください。

エフェクトの保存と読み込み

変更したエフェクトはファイルとして保存できます。Wave サンプルを編集したり、エフェクトの構成を変えたときは保存しておくと、いつでもそのエフェクトを読み込んで使用することができます。



▼エフェクトを保存するには

[SAVE]ボタンをクリックし、エフェクト名を付けて保存してください。9 つのエフェクトは 1 つのファイルとして保存されます。

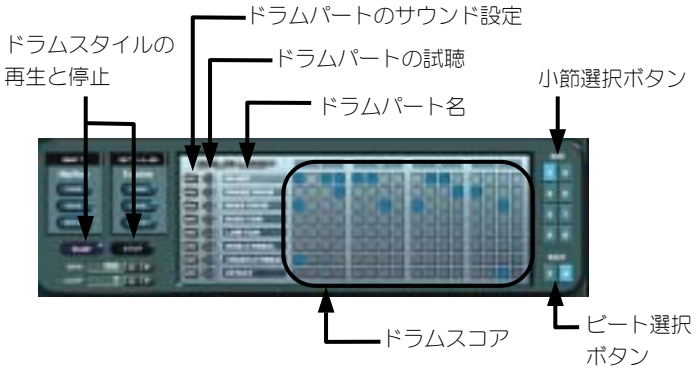
▼エフェクトを読み込むには

[LOAD]ボタンをクリックして読み込みたいエフェクトを選びます。[DELETE]ボタンで保存してあるエフェクトを削除することもできます。



本製品には強力なドラムループジェネレイター機能があります。ドラムループジェネレイターは、高品質のドラムマシーンのような働きをし、たくさんのドラム機能を備えています。あらかじめ設定されているドラムスタイル（テクノ、ヒップホップなど）を元にオリジナルのドラムスタイルを作成したり、ドラムパート毎にお好きなサウンドを設定することもできます。
ここではドラムループの使い方を詳しく説明します。
ドラムループを表示するには、コントロールウィンドウの[DRUM LOOP]ボタンをクリックします。

ドラムスタイルの作成



▼ドラムパート

ドラムスタイルのパートは全 8 種類（Hi-Hat、Snare Drum、Buss Drum、High-Tom、Low-Tom、Ride Cymbal、Crash Cymbal、Effect）から成っています。それぞれのパートの基本サウンドはすでに設定されています。試聴したいときは各ドラムパートの先頭にあるボタンをクリックしてください。ボタンをクリックすると、ご自分で用意したドラムパートサウンド（Wave データ）を設定することができます。

▼ドラムスコアの見方

ドラムパートごとに小さな四角形からなるドラムスコアが表示されています。ドラムスコアのうち、青いスコアはドラムパートサウンドを再生する部分を示します。



小節番号ボタンの中でハイライトしている番号が現在表示されている小節です。上図では 1 がハイライトしているのでこのドラムスコアは 1 小節目であることが

わかります。ボタンを押して表示したい小節を切り替えてください。ドラムパターンは 8 小節まであり、全て 4 ビート小節ならば、ドラムパターンは 8×16＝128 スコアの構成になります。

▼ドラムスタイルを作成するには

ドラムスコアをクリックします。
ビート数ボタンを押すとビート数（1/4 小節分のスコア数）を変更できます。[4]を選択すれば 1/4 小節は 4 つのスコアからなり、1 小節は 4×4＝16 スコアになります。[3]を選択すれば、1 小節は 3×4＝12 スコアとなります。ただし、ビート数を変えるとその小節のドラムスコアは全て消去されます。ビート選択は小節ごとに行ってください。



1 小節分のドラムスコアが指定できたら、次の小節番号ボタンをクリックして、次の小節のドラムスコアを設定してください。同じ方法で 8 小節までを作成します。

まったく新しくドラムスタイルを作成するには[STYLE]ボックスの[RESET]ボタンを押してから始めてください。すべてのスコアが消去されます。



▼ドラムスタイルを再生するには

[PLAY]ボタンをクリックすると、作成したドラムスタイルを再生することができます。再生をやめたい場合は[STOP]ボタンをクリックしてください。



▼BPM とループ回数を設定するには

ドラムスタイルの BPM を指定することもできます。BPM を変えることによって、ドラムサウンドを曲の BPM に合わせることができます。BPM は上下方向ボタンをクリックして変更してください。ドラムスタイルを再生しているときに変更すると、BPM はリアルタイムで反映されます。ターンテーブルで曲を再生しながらドラムスタイルを再生し、ドラムスタイルの BPM を調整する、といった使い方もできます。

また、ループ回数も設定できます。ループ回数を 4 にセットした場合、8 小節からなるドラムスタイルを 4 回再生します。

ドラムスタイルの保存と読み込み

作成したドラムスタイルは保存しておくことができます。



▼ドラムスタイルを保存するには

[SAVE]ボタンをクリックし、ドラムスタイル名を指定します。ドラムスタイルの構成が全て保存されます。

▼ドラムスタイルを読み込むには

[LOAD]ボタンをクリックすると、保存されているドラムスタイルが表示されるので、読み込みたいドラムスタイルを選びます。保存したドラムスタイルを削除したいときは、[DELETE]ボタンをクリックします。

ドラムセットの保存と読み込み

ドラムセットとは、8 つのドラムパートのサウンド音を指します。
ご自分で変更したドラムパート音を保存しておくことができます（ドラムパート音の変更方法は 78 ページ「ドラムパート」参照）。



▼ドラムセットを保存するには

[SAVE]ボタンをクリックし、ドラムセット名を指定します。ドラムパートに割り当ててある全てのサウンド音が 1 つのセット名で保存されます。

▼ドラムセットを読み込むには

[LOAD]ボタンをクリックすると、保存されているドラムセットが表示されるので、読み込みたいドラムセットを選びます。保存したドラムセットを削除したいときは、[DELETE]ボタンをクリックします。

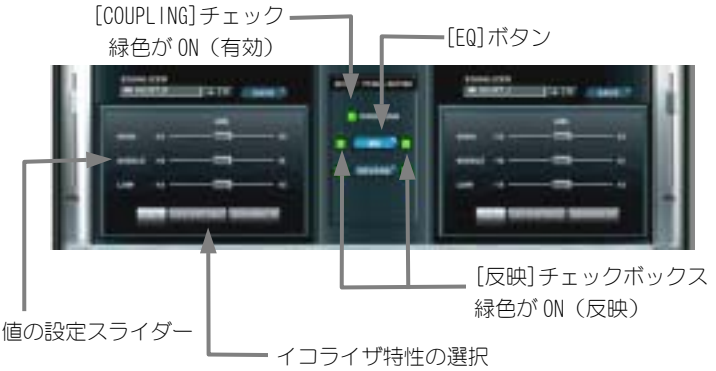
▼ドラムセットをすべて設定し直したいときは

[RESET]ボタンをクリックすると、8 つのドラムパートのサウンド設定がすべて消去され、最初からドラムセットを設定することができます。

EQ/リバーブでは、デジタルオーディオ（MP3、音楽 CD、Wave ファイル）の特性を調整します。このウィンドウではイコライザとリバーブの 2 つの特性を変更できます。ここでは EQ/リバーブについて詳しく説明します。
EQ/リバーブを表示するには、コントロールウィンドウの[EQ/REVERB]ボタンをクリックします。

イコライザの設定

イコライザの設定をするときは[EQ]ボタンをクリックします。



▼イコライザの設定を曲に反映するには

[EQ]ボタンの左右にある[反映]チェックボックスをクリックして緑色（ON）にすると、曲の再生時に、設定したイコライザ値を反映します。[反映]チェックボックスは左がトラック A に反映、右がトラック B に反映することを示します。チェ

ックボックスが ON になっているときにイコライザの設定値を変更すると、再生中の曲にリアルタイムで反映されるので、音を確認しながら設定することができます（デフォルトは OFF）。

▼カップリングを有効にするには

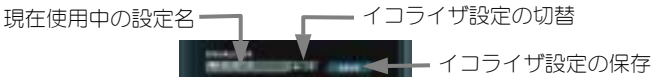
[COUPLING]チェックボックスをクリックして緑色（ON）にすると、トラック A およびトラック B のイコライザ設定が常に連動するようになります（デフォルトは OFF）。例えばトラック A の値を上げると、反対にトラック B の値が同量だけ下がります。これで、ある曲の高いボーカルパートと、もう片方の曲の低いリズムパートをうまく合わせることが可能になります。

▼イコライザの設定値

まず、変更したいイコライザのボタンを選びます。3 つの設定値ともに、高音、中音、低音の値設定ができます。

[GAIN]：それぞれの音の音量レベルを設定します。
[CENTER FREQ.]：それぞれの音の周波数の中心を設定します。
[BANDWIDTH]：それぞれの音の[CENTER FREQ.]で指定した値を中心とした幅を設定します。

▼設定したイコライザを保存するには



[SAVE]ボタンをクリックすると、現在の設定を保存します。また[▲][▼]ボタン

をクリックすると保存されている設定を切り替えることができます。すでに既定の設定値が何種類か保存されていますので、最も近いものを使用することができます。

リバーブの設定

リバーブの設定をするときは[REVERB]ボタンをクリックします。



▼リバーブの設定を曲に反映するには

[REVERB]ボタンの左右にある[反映]チェックボックスをクリックして緑色（ON）にすると、曲の再生時に、設定したリバーブ値を反映します。[反映]チェックボックスは左がトラック A に反映、右がトラック B に反映することを示します。チェックボックスが ON になっているときにリバーブの設定値を変更すると、再生中の曲にリアルタイムで反映されるので、音を確認しながら設定することができます（デフォルトは OFF）。

▼リバーブの設定値

[INPUT GAIN]：原音の音量レベルを設定します。
[REVERB MIX]：リバーブ音のレベルを設定します。
[REVERB TIME]：リバーブ時間を設定します。
[HIGH FREQUENCY RT RATIO]：高音でリバーブ時間をどのくらいにするかを設定します。

▼設定したリバーブを保存するには



[SAVE]ボタンをクリックすると、現在の設定を保存します。また[▲][▼]ボタンを押すと保存されている設定を切り替えることができます。すでに既定の設定値が何種類か保存されていますので、最も近いものを使用することができます。

ミキサーは 2 つのトラック、エフェクト、ドラムループ、ラインイン、マイクインなどを同じウィンドウでコントロールする機能です。
ここではミキサーの使い方を詳しく説明します。
ミキサーを表示するには、コントロールウィンドウの[MIXER]をクリックしてください。

ミキサーのコントロール

ミキサーでコントロールできるのは、左から、トラック A、トラック B、エフェクトとドラムループ、ラインイン、マイクイン、マスター出力、モニター出力の 7 つです。



▼ボリュームスライダーを制御するには

本体の選択ボタンを押すたびに、スライダーノブのハイライト表示が切り替わり

ます。本体のスライダーを動かすとハイライト表示しているスライダーが制御できます。

▼パンスライダー
スピーカーの左右の出力バランスを調整します。

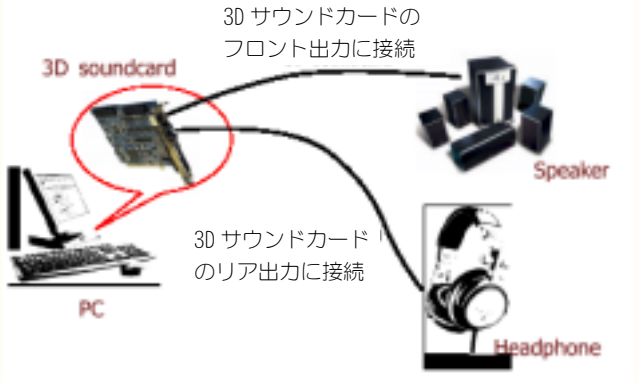
▼[MUTE]ボタン
ボタンをクリックするとハイライトします。この状態がミュート（消音）です。

▼[MONITOR]ボタン
トラックAまたはトラックBのいずれかの音量は、モニター出力することができます。このボタンをクリックすると、モニター出力（ボタンハイライト表示）とマスター出力を切り替えることができます。モニター出力については次項を参照してください。

モニター出力について

3Dサウンドカードをお使いの場合なら、アナログDJがよくやるように、スピーカーでマスター出力しながら、ヘッドホンで曲の再生を確認することができます。本製品では、3Dサウンドカードのリアチャンネルをモニタールートとして使うことでモニター出力を可能にしています。

▼モニター出力のための接続
モニター出力を楽しむためには、3Dサウンドカードとヘッドホンが必要です。次のように接続してください。



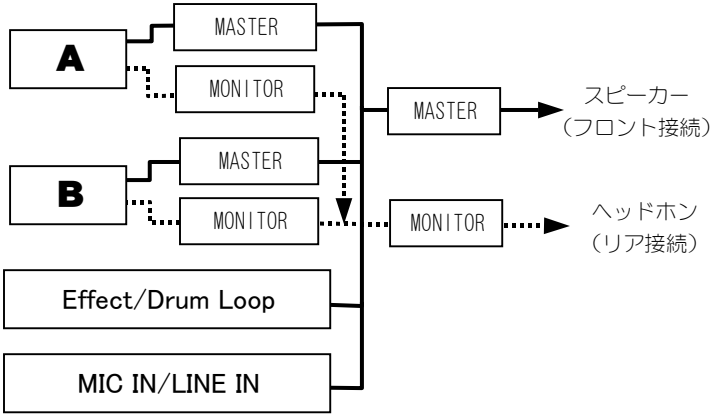
▼出力先を切り替えるには

ターンテーブルの[MASTER]をクリックするか、ミキサーの[MONITOR]ボタンをクリックすると、曲の出力先が[MONITOR]に切り替わります。



▼マスター出力とモニター出力の関係

モニター出力できるのは、トラック A または B のいずれかだけです。



トラブル Q&A＜目次＞

■インストール時のトラブル

本製品を接続しても「新しいハードウェアの追加」画面が
表示されない 92
インストール後の確認で「SoundGraph」が表示されない 94
インストール後の確認で「DJPAD2020」が表示されない 94
インストール後の確認で「SoundGraph KMDLL DRV」が
表示されない 95
インストール後の確認で「キーボード」や「マウス」に
本製品が表示されない 95
本製品を接続しても画面右下のタスクトレイにアイコンが
表示されない 96

■DJPAD2020 使用時のトラブル

音楽が再生されない 97
スライダーを動かしてもボリュームが変わらない 98
画面にカーソルが表示されない 98
スクラッチパッドをこすってもスクラッチ音が出ない 98
エフェクトパッドをたたいてもエフェクト音が出ない 99
EQ/リバーブで値を変えても効果が感じられない 99
スライダーを動かしてもスクロールしない 100
デスクトップ上の DJPAD2020 アイコンが消える 100

トラブルQ＆A（インストール時のトラブル）

■本製品を接続しても「新しいハードウェアの追加」画面が表示されない

原　因	パソコンと本製品が正しく接続されていない。
解決方法	以下のことをお試しください。 ● パソコン側、本製品側とも、USB ポートに最後まで差し込まれているかどうかを確認する。 ● 別の USB ポートに差し込んでみる。 ● USB ハブのポートに差し込んだ場合は、パソコン本体の USB ポートに差し込んでみる。

原　因	すでにインストール済みである。
解決方法	「新しいハードウェアの追加」画面は、初めて接続したときだけ表示されます。２度目からは本製品を接続するだけでお使いいただけます。インストールしたかどうかわからない場合は「インストール後の確認」を行ってみてください。正しく確認できれば、サポートソフトがすでにインストールされている状態なので、そのままお使いいただけます。 「インストール後の確認」 Windows XP の場合：18 ページ参照 Windows 2000 の場合：26 ページ参照 Windows Me/98 の場合：31 ページ参照

原　因	Windows 再起動後にパソコンと本製品を接続した。
解決方法	いったんパソコンの電源を切り、パソコンと本製品を接続してから、Windows を起動してください。 11 ページ「パソコンとの接続」参照

原　因	サポートソフトが誤認識されている。
解決方法	インストールの途中で[キャンセル]を押した場合やインストールを正しい手順で行わなかった場合、サポートソフトが誤認識されてしまう場合があります。 1. 「インストール後の確認」を参照して、デバイスマネージャ画面が表示します。 2. 「不明のデバイス」や「その他のデバイス」が表示されているか確認する。 3. 表示されていたら、そのデバイスを右クリックして、[削除]を選び、デバイスを削除します。 4. 本製品を取り外した後、パソコンを再起動します。 5. もう一度、インストールをやり直します。 「インストール後の確認」 Windows XP の場合：18 ページ参照 Windows 2000 の場合：26 ページ参照 Windows Me/98 の場合：31 ページ参照 7 ページ「DJPAD2020 ソフトウェアのインストール」参照

■インストール後の確認で「SoundGraph」が表示されない

原　因	インストールされていない。
解決方法	再度、最初からインストールを行ってください。 7 ページ「DJPAD2020 のインストール」参照

■インストール後の確認で「DJPAD2020」が表示されない

原　因	パソコンと本製品が正しく接続されていない。
解決方法	以下のことをお試しください。 パソコン側、本製品側とも、USB ポートに最後まで差し込まれているかどうかを確認する。 別の USB ポートに差し込んでみる。 USB ハブのポートに差し込んだ場合は、パソコン本体の USB ポートに差し込んでみる。

原　因	正しくインストールされていない。
解決方法	インストールの途中で[キャンセル]を押した場合やインストールを正しい手順で行わなかった場合、サポートソフトが誤認識されてしまう場合があります。 1. デバイスマネージャ画面で「SoundGraph KMDLL DRV」を右クリックして、[削除]を選び、デバイスを削除します。 2. 本製品を取り外した後、パソコンを再起動します。 3. もう一度、インストールをやり直します。 7 ページ「DJPAD2020 のインストール」参照

■インストール後の確認で「SoundGraph KMDLL DRV」が表示されない

原　因	正しくインストールされていない。
解決方法	インストールの途中で[キャンセル]を押した場合やインストールを正しい手順で行わなかった場合、サポートソフトが誤認識されてしまう場合があります。 1. デバイスマネージャ画面で、「DJPAD2020」を右クリックして、[削除]を選び、デバイスを削除します。 2. 本製品を取り外した後、パソコンを再起動します。 3. もう一度、インストールをやり直します。 7 ページ「DJPAD2020 のインストール」参照

■インストール後の確認で「キーボード」や「マウス」に本製品が表示されない

原　因	パソコンと本製品が正しく接続されていない。
解決方法	以下のことをお試しください。 ・パソコン側、本製品側とも、USB ポートに最後まで差し込まれているかどうかを確認する。 ・別の USB ポートに差し込んでみる。 ・USB ハブのポートに差し込んだ場合は、パソコン本体の USB ポートに差し込んでみる。

原　因	正しくインストールされていない。
解決方法	デバイスマネージャ画面で「DJPAD2020」が表示されているか確認します。表示されていないときはそちらの解決方法をご覧ください。

■本製品を接続しても、画面右下のタスクトレイにアイコンが表示されない

原　因	ー
解決方法	Windows XP/2000 をお使いの場合、通常、USB デバイスを接続すると画面右下にアイコンが表示されますが、本製品ではそのアイコンは表示されません。Windows 起動中に取り外すには、そのまま USB コネクタを抜いてください。

トラブルQ＆A（DJPAD2020 使用時のトラブル）

■音楽が再生されない

原　因	ボリュームが小さい、または、ミュートになっている。
解決方法	ターンテーブル上、曲名がスクロール表示されていますか？スクロール表示されていないときはターンテーブルの再生ボタンをクリックするか、プレイリストの曲名部分をダブルクリックしてください。 スクロール表示されているのに、音楽が再生されないのは音量の問題が考えられます。以下のことをお試しください。 ● ボリュームスライダーのノブを上げてみてください。 ● パソコン画面右下のタスクトレイにあるスピーカーアイコンがミュート（）になっているときはミュートを解除してください。 ● [ミキサー]ウィンドウを開き、[MASTER]がミュートになっていないか、確認してください。 ● サウンドカードが正しく接続されていることを確認してください。 65 ページ「ボリュームのコントロール」参照 87 ページ「詳細編（ミキサー）」参照

■スライダーを動かしてもボリュームが変わらない

原　因	ボリュームスライダーのノブがハイライトになっていない。
解決方法	本体のスライダーは、画面上のノブがハイライト表示されているスライダーと連動します。画面上のボリュームスライダーのノブがハイライトしていることを確認してください。ハイライト表示されていないときは画面上のノブをクリックしてみてください。 65 ページ「ボリュームのコントロール」参照

■画面にカーソルが表示されない

原　因	DJ モードになっている。
解決方法	本体のモード切替ボタンを押し、ノーマルモードにしてください。DJ モードのときは画面上にカーソルが表示されません。 51 ページ「ノーマルモードと DJ モード」参照

■スクラッチパッドをこすってもスクラッチ音が出ない

原　因	DJ モードになっていない。
解決方法	本体のモード切替ボタンを押し、DJ モードにしてください。DJ モードにしないとスクラッチ音は出せません。 51 ページ「ノーマルモードと DJ モード」参照

■エフェクトパッドをたたいてもエフェクト音が出ない

原　因	DJ モードになっていない。
解決方法	本体のモード切替ボタンを押し、DJ モードにしてください。 DJ モードにしないとエフェクト音は出せません。 49 ページ「エフェクトを入れてみよう」参照

原　因	パッド上のたたく位置が違う。
解決方法	DJ モードにすると、タッチパッドの位置が画面上のエフェクト番号 1〜9 に連動します。タッチパッドをたたいてみて、番号と連動する位置を覚えてください。 49 ページ「エフェクトを入れてみよう」参照

■EQ/リバーブで、値を変えても効果が感じられない

原　因	[反映]チェックボックスが ON（緑色）になっていない。
解決方法	EQ/リバーブともに、設定した値を反映するかどうかのチェックボックス（ターンテーブル別）があります。チェックボックスが ON（緑色）になっているものだけが反映されますので、チェックボックスをクリックして ON にしてからお試しください。 83 ページ「イコライザの設定」参照 85 ページ「リバーブの設定」参照

■スライダーを動かしてもスクロールしない

原　因	サードパーティ製のマウスユーティリティがインストールされている。
解決方法	サードパーティ製のマウスユーティリティがインストールされていると、スライダーが動作しない場合があります。 マウスユーティリティをタスクトレーから外してみるなどしてお試しください。

■デスクトップ上の DJPAD2020 アイコンが消える

原　因	ー
解決方法	Windows の表示色を High Color(16 ビット)または、True Color(24 ビット)に設定してください。

ハードウェア仕様

型式番号	DJPAD2020
外形寸法	190(W)×40(H)×177(D)mm （突起部除く）
質量	本体：425g
端末インターフェイス	USB Spec 1.1 準拠 電源電圧：バスパワー/5.0V 消費電流：最大 100mA
USB ケーブル長	1.7m
動作温度	0～+40℃
動作湿度	20～80%

用語解説

CD-DA（ｼｰﾃﾞｨｰﾃﾞｨｰｴｰ）（*Compact Disc Digital Audio*）

音楽 CD。音楽 CD は、サンプリング周波数 44.1kHz、量子化 16 ビットの PCM 方式でデジタル録音するため、アナログレコードと違って何度聞いても音質が劣化しない。12cm の CD には 74 分の音声を収録できる。

MP3（ｴﾑﾋﾟｰｽﾘｰ）　（*MPEG-1 Audio Layer 3*）

MPEG Audio 規格は音声情報圧縮技術の規格で、Layer 1 が 1/4、Layer 2 が 1/8、Layer 3 が 1/10 の圧縮率を得ることができる。音楽 CD 並の高音質を得ることができるため、小型再生装置（携帯プレーヤーなど）やインターネットでの配布に便利。

USB（ﾕｰｴｽﾋﾞｰ）　（*Universal Serial Bus*）

パソコンと周辺機器を接続する規格の１つ。パソコンと周辺機器の接続性向上、増設のしやすさなどを主な目的として 1995 年に公開された。

- コネクタ形状の一元化により、周辺機器のインターフェイスが統一される。
- デスクトップパソコンでもノートパソコンでも使用できる。
- Hot Plug 対応でパソコン起動中でも抜き差しできる。
- USB ポートから電源供給が可能なので外部電源が要らない。
- 複数の IRQ を使用しないので機器間の競合が少なくなる。

などの特長を持つ。

WAVE（ｳｪｲﾌﾞ）

Windows 標準の音声ファイルの形式。デフォルトでは PCM(無圧縮)だが、Microsoft 社などが提供する「CODEC」と呼ばれるソフトウェアを追加することにより、MP3 など様々な圧縮方式を利用することができるようになる。

イコライザ　*(Equalizer)*

周波数特性を補正して音色を変えること、または、補正するための機械。

エフェクト　*(Effect)*

再生中の曲に特殊な音響効果を与えること。

クロスフェード　*(Cross Fade)*

2 つの曲の音量を同時にコントロールし、スムーズに曲の切り替えを行うこと。

スクラッチ　*(Scratch)*

ニューヨークのヒップ・ホップ系 DJ やサウンド・クリエイターによって生み出された技法。レコードプレイヤーのターンテーブルを手で廻し、レコードと針のこすれる「キュッ」という音をリズミカルに曲に合わせるテクニック。

リバーブ　(Reverb)

エフェクトの一種。まるでホールや大聖堂で演奏しているような残響効果を得ることができる。

リミックス　(Re-mix)

既に発表されている曲の違うバージョンを作ること。このとき、アレンジを大幅に変えたり、リズムを追加する場合もある。

サポートセンターへのお問い合わせ

■お知らせいただく事項

1. お客様の住所・氏名・郵便番号・連絡先の電話番号及び FAX 番号
2. ご使用の弊社製品名
3. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番
4. ご使用の OS とアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名
5. 現在の状態(起こったタイミング、本製品や画面、メッセージなどについて)

■インターネット

http://www.iodata.jp/support/
「サポートセンターお問い合わせ」内のフォームを
使用して E-Mail をお送りください。

■郵便

住所　〒920-8513
石川県金沢市桜田町 2 丁目 84 番地 アイ・オー・データ第 2 ビル
株式会社アイ・オー・データ機器サポートセンター
「DJPAD2020」係　宛

■電話・FAX

電話番号	本社 **076-260-3646**	東京 **03-3254-1036**
電話受付時間	9:30～19:00　月～金曜日(祝祭日を除く)	
FAX 番号	本社 **076-260-3360**	東京 **03-3254-9055**

本製品に関するお問い合わせはサポートセンターのみで行っています。
予めご了承ください。

サポートソフトのバージョンアップ

入手方法は以下の通りです。

■オンライン

http://www.iodata.jp/lib/

■サービス窓口からの郵送

下記の窓口までお問い合わせください。（送料及び手数料はお客様負担）

〒920-8513
石川県金沢市桜田町 2 丁目 84 番地 アイ･オー･データ第 2 ビル
株式会社アイ･オー･データ機器
「DJPAD2020」サービス窓口　宛

電話番号　**076-260-3663**
受付時間　9:30～12:00　13:00～17:00
月～金曜日（祝祭日を除く）

■ご注意

オンラインによるダウンロードはお客様の責任のもとで行ってください。
添付ソフトウェアの中には、当サービス対象外のソフトウェアもあります。

保証について

■保証期間

保証期間は、お買い上げの日より１年間です。保証期間を過ぎたものや、保証書に販売店印とお買い上げ日の記述のないものは、有償修理となります。また、修理を受ける場合には保証書が必要になりますので、大切に保管してください。
弊社が販売終了を決定してから、一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
詳細は、ハードウェア保証書をご覧ください。

■保証範囲

次のような場合は、保証の責任を負いかねます。予めご了承ください。

- 本製品の使用によって生じた、データの消失及び破損。
- 本製品の使用によって生じた、いかなる結果やその他の異常。
- 弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障。

備考

DJPAD2020 の情報は、以下のサウンドグラフ社のホームページでもご覧頂けます。
ホームページ：**www.soundgraph.com**
問い合わせ E-mail：**djpad@soundgraph.com**
※ サウンドグラフ社のホームページによる情報は、弊社保証範囲外となります。閲覧およびご利用は、お客様の責任の元で行ってください。

修理について

弊社製品の修理につきましては、以下の事項をご確認の上、販売店へご依頼いただくか、または下記修理品送付先までお送りくださいます様、お願い致します。

- 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
  また、修理品のデータにつきましては、故障症状確認の際にすべて消去されます。

- 修理品にはご使用の環境や現在の状態（『サポートセンターへのお問い合わせ』の「お知らせいただく事項」）をお書き添えください。

- 保証期間中は無償で修理いたします。ただし、次の場合は有償となります。
  ◇保証書がない場合
  ◇保証書の所定事項が未記入の場合
  ◇逆挿入など誤った操作方法や、お買い上げ後の輸送・落下・取り付け場所の移設による破損、故障の場合
  ◇落雷などの事故による破損の場合
  ◇本製品を改造した場合

- 保証期間後は有償で修理いたします。
  製品によっては主要部品がユニット化（一体化）されている場合がありま

す。これらの製品で故障が主要部品におよんでいた場合、各ユニットの交換を実費で行います。

■修理品送付先

住所　〒920-8513
石川県金沢市桜田町 2 丁目 84 番地 ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀ第 2 ビル
株式会社アイ･オー･データ機器
「DJPAD2020」修理係　宛

※ 修理品を送付される場合は、輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱･梱包材を使用してください。また、紛失等のトラブルを避けるため、**宅配便**または**書留郵便小包**でのご送付をお願いいたします。

■修理品納期問い合わせ窓口

受付窓口　「DJPAD2020」 サービス窓口
電話番号　金沢 **076-260-3663**
受付時間　9:30～12:00 13:00～17:00
月～金曜日（祝祭日を除く）

※ 申し込まれた修理品の納期をお知りになりたい場合は、上記までお問い合わせください。

DJPAD2020 取扱説明書
2001.Dec.14 103304-01
発 行　株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町 3 丁目 10 番地

© 2001 I-O DATA DEVICE, INC. All rights reserved.
本製品及び本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。